はじめに

「和歌」と「文学史」に関して入試に必要な知識を、本講座で効率よく習得しましょう。

第一～五講では、和歌の基本知識、修辞技法などをじっくり解説します。その上で、演習問題に取り組み理解を深める構成にしてあります。ちなみに第三講は、第一・二講で学習した内容の【応用演習問題】（おもに国公立の記述問題）です。国公立大学志望以外の方も理解を深めるためにチャレンジしてください。

第六～八講では、「文学史」を扱います。入試で問われやすいことに焦点をおいて解説します。「自分で勉強しようとしても、量がたくさんありすぎて、何をどう覚えるべきなのかわからない」という人は、ぜひ本講座を活用してください。演習問題もたくさんありますので、問題を解きながら覚えていきましょう。文学史は配点が低い可能性が高いですが、１・２点の差で合否が決まってしまうのも現実です。文学史は覚えれば確実に得点できる箇所ですから、１・２点に泣くことがないよう、しっかり仕上げておきましょう。

なお、「文学史」（第六～八講）は、ゼロの知識からでも受講可能ですが、「和歌」（第一～五講）に関しては、「文法」と「基本的な読解ルール」は理解できているものとして授業を行いますので、「古文～文法編～」と「スタンダードレベル古文～読解編～」の授業を受講してから、和歌の講義を受講することをオススメします。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

予復習・授業の受け方について

予習は第三講、第五講の問１～４のみです。
その他の講は予習なしですので、テキストをお手元に準備した上で動画をスタートさせて受講してください。
テキスト中に演習問題がありますが、講義中に問題を指定しますので、その都度該当問題を適宜解いてください。
予習があるものに関しては、予習が終わればなるべく時間をあけずに該当講座を受講しましょう。

講義中に数種類の色を使って板書をしますが、色をそろえる必要はまったくありません。
赤色だけでも、黒一色でもかまいませんので、ご自分のお好きな書き込み方法で。

講義を見終えたら、復習を必ずしてください。
理解ができれば、あとは覚えこむまで何度も復習してください。

復習が終われば、後ろにある **「復習問題」** を解きましょう。
復習問題は何度でもできるように、答えは直接書き込まないことをおススメします。
万一間違えた場合は、テキストの該当箇所に戻って復習をしてから、再度「復習問題」を解き直しましょう。
記憶を定着させるツールとして、何回でも使用してくださいね。

それでは始めましょう！

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

目次

第一講　「和歌」の基礎知識／枕詞 …… p. 4
第二講　掛詞／様々な修辞技法（「隠し題」など） …… p. 14
第三講　枕詞・掛詞などの〔演習編〕 …… p. 26
第四講　序詞／縁語 …… p. 36
第五講　縁語〔演習編〕／引き歌／その他の問題傾向 …… p. 44
第六講　文学史❶ …… p. 58
第七講　文学史❷ …… p. 80
第八講　文学史❸ …… p. 102

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講「和歌」の基礎知識／枕詞

1 和歌の基本知識

①**和歌〈＝三十一文字／大和歌〉の構造**

初句 ―― 二句 ―― 三句（**腰の句**） ―― 四句 ―― 五句（結句）

上の句（**本**）＝初句・二句・三句
下の句（**末**）＝四句・五句

②**句切れ…各句末のどこかが文末の形**になっていたら、その部分で「**○句切れ**」という。

〈見つけ方〉 以下の四つのいずれかの形が各句末にないか確認する。

a　**終止形**
b　**命令形**
c　**終助詞**（ばや・なむ・てしがな・にしがな・もがな…等）
d　**係り結びの「結び」**
※ただし、（各句末のいずれかの）「体言」で文の終わり（＝そこが句切れ）になっている場合もあるので注意。

（例）　月見ればちぢにものこそ悲しけれ我が身ひとつの秋にはあらねど

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③**歌枕**…和歌に詠みこまれる**景勝の地**。多くは伝承的に**名所**とされている。

④**連歌**…二人で応答して上の句に下の句を添え、一首の短歌をつくること。またそうしてできた和歌。
また二人もしくは数人で、短歌の上の句、下の句を交互につくって長く続けるもの。

⑤**腰折れ**…**下手な歌のこと**。
（＊第三句＝腰の句　三句目が悪ければ次につなげにくい。）

問1　和歌「昔より頼みきぬればもろともに思ひぞ沈む波の底まで」の句切れとして正しいものを、次の中から選べ。

ア　二句切れ　イ　三句切れ　ウ　四句切れ　エ　句切れなし

問2　和歌「こころみに雨も降らなむ宿すぎて空ゆく月のかげやとまると」は何句切れか。次の中から選べ。

ア　初句　イ　二句　ウ　三句　エ　四句　オ　句切れなし

問3　和歌「この春の別れや限りとまる身の老いて久しき命ならねば」の句切れはどこにあるか。次の中から選べ。

ア　初句　イ　二句　ウ　三句　エ　四句　オ　句切れなし

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問4　次の傍線部には「白河の関」「逢坂山」などがあるが、これらを文学研究の上で一般的に何と呼ぶか。漢字二字で答えよ。

…一方では詩人＝旅人は文化的記憶の目印となる詩的場所を積極的に捜し出しながら…

問5　和歌の上の句と下の句を別人が掛け合いで唱和する文学形式を何というか、漢字二字で書け。

問6　次の空欄に入るべき和歌の修辞技巧に関わる語句を後の語群から選べ。

〈中略〉～鳴海潟、不尽（ふじ）の高嶺の煙、浮島が原、清見が関、大磯小磯の浦々、～武蔵野の原、塩竈（しほがま）の和（な）ぎたる朝景色、～木曾の桟橋（かけはし）、心のとどまらぬかたぞなきに、猶西の国の［　　］を見まほしとて、～難波を経て、須磨・明石の浦ふく風を…〈以下略〉

ア　歌枕　　イ　縁語　　ウ　掛詞　　エ　序詞　　オ　名所

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2 枕詞

通常五音（＝初句か三句）。訳さない。特定の語を導く。

☆☆☆

- **あしひきの【**足引きの**】**＝**山**・峰（を）・岩・木（こ）・あらし　〈　　系〉
- **ひさかたの【久方の】**＝天・月・光・空・日・雲・都　〈　　系〉
- **からころも【唐衣・韓衣】**＝着る・裁つ・裾・袖　〈　　系〉
- **くさまくら【草枕】**＝**旅**・結ぶ
- **ちはやぶる【**千早振る**】**＝**神**・うぢ
- **たらちねの【**垂乳根の**】**＝**母**・親
- **ぬばたまの【**射干玉の**】**＝髪・墨・黒・夜・夢・月　〈　　系・　　系〉
- **うばたまの【**烏羽玉の**】**＝黒・闇・夜・夢　〈　　系・　　系〉
- **あづさゆみ【**梓弓**】**＝いる・ひく・はる・そる・本・末・弦（つる）
- **あらたまの【新**玉の・荒玉の**】**＝年・月・日・春

☆☆

- **あをによし【青丹**よし**】**＝**奈良**
- **しろたへの【白**栲の**】**＝袖・衣・袂（たもと）・雲・雪・波　〈　　系・　　系〉
- **くれたけの【**呉**竹**の**】**＝ふし・うきふし・夜・世
- **はるがすみ【春霞】**＝**春日**・たつ・井・よそに

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

☆

●あかねさす【茜さす】＝日・昼・紫
●いはばしる【石走る】＝滝・垂水・近江（淡海）
●うつせみの＝人・命・世
●たまきはる＝命・世
●もののふの【物部の・武士の】＝八十（やそ）・宇治・矢野・矢田
●ももしきの【百敷の・百磯城の】＝大宮
●いそのかみ【石上】＝ふる
●しきしまの【敷島の・磯城島の】＝大和・日本（やまと）

※「敷島の道」＝和歌の道・歌道

問１　次の和歌の傍線部のように「たまきはる」は「命」にかかる。このような修辞法を何というか、答えよ。

たまきはる命をあだに聞きしかど君恋ひわびる年は経にけり

問２　次の文は「雲居とはなれさへ知るや久方の空踊りする鳥にもあるかな」の和歌についての説明である。適切であればA、不適切であればBの符号で答えよ。

この歌の中に用いられている「久方の」という言葉は「空」にかかる枕詞である。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問3　次の空白部［x］・［y］には枕詞が入る。適切なものを後の中からそれぞれ一つずつ選べ。

［x］としの三年を待ちわびてただ今宵こそ新枕（にひまくら）すれ
［y］引けど引かねどむかしより心は君によりにしものを

ア　あしひきの　　イ　あづさゆみ　　ウ　あをによし
エ　あらたまの　　オ　あさぼらけ

x＝　　　　y＝

問4　「ここらの年ごろに、［　］夢ばかりだになくおぼほれて、…」の空欄には「夢」の枕詞が入る。最も適当なものを次の中から選べ。

ア　あしひきの　　イ　うつせみの　　ウ　ちはやぶる
エ　くさまくら　　オ　ぬばたまの

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問5　次の空欄 Ⅰ ～ Ⅲ には、それぞれ枕詞が入る。最も適当なものを次の中から選べ。

東路や、 Ⅰ 光のどかに照らす…〈中略〉…さらに道々の事を興し給うて、 Ⅱ 道行き人も、落ちたるを拾はず、 Ⅲ 夜も、戸ざしせぬ世なりけり。

a　ちはやぶる　　b　うばたまの　　c　ひさかたの
d　たまぼこの　　e　くさまくら

Ⅰ＝　　　　Ⅱ＝　　　　Ⅲ＝

問6　「あをによし」は「奈良」にかかる枕詞である。では、「あをによし」の「あをに」とはどのような意味か。次の中から最も適切なものを選べ。

ア　青い色のこと　　イ　青い空のこと　　ウ　青い土のこと
エ　青い膚のこと　　オ　青い水のこと

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講　復習問題

①「天つ風雲の通ひ路吹きとぢよをとめの姿しばしとどめむ」の和歌は、何句切れか。最も適切なものを次の中から選べ。

ア　初句切れ　　イ　二句切れ　　ウ　三句切れ
エ　四句切れ　　オ　句切れなし

②「関越えて今日ぞ問ふとや人は知る思ひたえせぬ心づかひを」の和歌は、何句切れか。最も適切なものを次の中から選べ。

ア　初句切れ　　イ　二句切れ　　ウ　三句切れ
エ　四句切れ　　オ　句切れなし

③「和歌の浦にかきとどめたる藻塩草これを昔のかたみとは見よ」の傍線部は、古歌に詠まれた景勝地であるが、このような名勝を表す言葉として最も適当なものを次の中から選べ。

ア　歌枕　　イ　歌草子　　ウ　枕詞
エ　縁語　　オ　歌題

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④「忘れてもまた手にとらじあづさ弓もとの家路をひき離れては」の歌の表現について述べた次の文の［　］に入る語を後の中から選べ。

「あづさ弓」は、万葉集の時代に流行した［　］と呼ばれるもので、後の「もと」「ひき（引き）」を導く働きをしている。

ア　歌枕　　イ　序詞　　ウ　本歌取り　　エ　枕詞　　オ　比喩

⑤　次の空欄１・２に入る枕詞をそれぞれ後から選べ。

［　１　］年立ちかへる朝より待たるるものは鶯の声　素性法師（『拾遺集』）

昨日こそ年は暮れしか［　２　］春日の山にはや立ちにけり　山部赤人（『拾遺集』）

ア　ぬばたまの　　イ　はるがすみ　　ウ　やくもたつ

エ　あらたまの　　オ　ひさかたの

１＝　　　　２＝

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑥　次の空欄［A］と空欄［B］に入る枕詞の組合せとして、最も適切なものを後の中から選べ。

「［A］大和心を人とはゞ朝日に匂ふ山櫻花」…〈中略〉…万葉集の「［B］奈良の都はさく花のにほふが如く今盛りなり」…

ア　A　敷島の　　B　青丹よし
イ　A　日の本の　B　神風の
ウ　A　青丹よし　B　百敷の
エ　A　百敷の　　B　敷島の
オ　A　神風の　　B　日の本の

⑦　「［　］光のどかにてらす御神の御事とかや…」の［　］に入る最も適当な語を、次の中から一つ選べ。

ア　あしひきの　　イ　たらちねの　　ウ　ぬばたまの　　エ　ひさかたの

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　掛詞／様々な修辞技法（「隠し題」など）

1　掛詞

同音に二つ以上の意味をもたせる。

〈例題１〉 次の文章は、主人公・中納言が、母（＝上）の病気治療のため、有馬温泉に湯治に行くことを決意する場面である。Aの和歌には掛詞が一か所用いられている。何と何が掛けられているか説明せよ。

上の御心地、悩ましげに見え給へり。「かかるには、（注）有馬の湯浴み給ふなん、よろしう侍る」と聞ゆる人ありければ、…〈中略〉…中納言殿は、例の心に任せぬ御身にひきかけ給ひて、かかる所にだに、（注）笹の庵もひき結ばまほしう思すに、いとど、

A　かくてのみいつまでか世に有馬山（注）猪名（いな）の笹原いなと思へど

注　有馬――今の兵庫県神戸市にある地名および山名。今も温泉で有名。
笹の庵もひき結ばまほしう思す――「出家（＝世を捨てて仏門に入る）願望がある」ということ。
猪名――今の兵庫県川辺郡と大阪府豊能郡にまたがる地の古名。有馬山とはやや離れているが、古来良く結びつけられる。

> **ポイント①「　　　」に多い！**
> 本文中やリード文、注釈に出てきた「　　　」が和歌中にあれば、そこが掛詞になっている可能性が高い。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問1　次の文章は、失恋をし、傷心の思いで、都から浜名湖のあたりまで旅をした時の記録です。ａの歌の掛詞を指摘し、何と何が掛っているか具体的に説明しなさい。

注1この国になりては、大きなる川いと多し。注2鳴海（なるみ）の浦の潮干潟（しほひがた）、…〈中略〉…人知れぬ心の中のみさまざま苦しくて、

ａ　これやさは　いかに鳴海（なるみ）の　浦なれば　思ふかたには　遠（とほ）ざかるらむ

注　1　この国……尾張（をはり）の国（現在の愛知県西部）
　　2　鳴海（なるみ）の浦……現在の名古屋市緑区の海岸で、古来、干潟や浜千鳥で有名な歌枕。

問2　傍線の和歌の中で、掛詞として用いられている単語を後のＡ～Ｅの中から一つ選べ。

世の憂きを思ひながすの浜ならばわれさへともにゆくべきものを

とある返し、
　憂きことよいかで聞かじと祓（はら）へつつ違（ちが）へながすの浜ぞいざかし
とて、いにけり。いきつきて、長洲の浜にいでて、網引かせなど、遊びけるに、…〈以下略〉

注　違へ……災いを人形に託す。

Ａ　思ひ　　Ｂ　ながす　　Ｃ　浜　　Ｄ　われ　　Ｅ　とも

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈例題２〉　次の本文中の（Ⅰ）の和歌の中に「鳴く・泣く」以外に掛詞が二つ用いられている。指摘して説明せよ。

（「必ず帰ってくる」と言って唐に渡った息子のことなど）思ふこと少なくてあらぬ身のみ心憂く、何とも聞こえぬ虫の、草むらに思ひ思ひの声なる、あはれに、*嵯峨野（さがの）などに鳴き乱るらん、思ひやられて、

（Ⅰ）　誰をとも分かず鳴くらんまつ虫の我が身のさがの音（ね）に*ぞ通ふる

枕のいたく濡れたれば…〈以下略〉

*嵯峨野…京都市右京区嵯峨の一帯。秋草・虫の名所。
*ぞ通ふる…破格の用法で、「ぞ通ふ」とあるべきところ。「音にぞ通ふる」は「泣き声に似通う」という意味。

ポイント②　「不自然な　　　　　　」の部分に注目！

＊「地名」は漢字のままも多いので注意。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問３　次の和歌に用いられている掛詞について説明しなさい。

まづぞ思ふ都の秋の月見ても君すむ宿の松風の声

★頻出例

〔地名〕

●あかし＝明石／明かし（明るい）　●あふ（さか）＝逢坂／逢ふ

●あふみ＝近江／逢ふ身　●いく（の）＝生野／行く

●いなば＝因幡／往なば　●すみ（よし）＝住吉／住み良し／澄み

●する（が）＝駿河／する　●たつ（たやま）＝竜田山／立つ

〔その他〕

●あき＝秋／飽き　●あま＝天／海人／尼　●うき＝浮き／憂き／（泥（うき））

●かれ＝枯れ／離れ　●すむ＝住む／澄む　●ながめ＝長雨／眺め

●なぎさ＝渚／無き　●ひ＝火／思ひ／恋ひ　●ふみ＝文／踏み

●まつ＝松／待つ　●おく＝起く／置く（＊「露を**置く**」＝露が発生する）

●みをつくし＝澪標（船の水路を示す杭）／身を尽くし

●ふる＝降る／経る（年月が経つ・生きていく）／振る／古る（古びる・年をとる・昔なじみ）

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈例題３〉 次の傍線部の和歌に用いられている掛詞について説明しなさい。

女、「宵ごとに　帰しはすとも　いかでなほ　あかつき起きを　君にせさせじ
苦しかりけり」とあれば、
「朝露の　おくる思ひに　くらぶれば　ただに帰らむ　宵はまされり」とあり。

ポイント③　「文章中のキーワード」の再現！

まとめ　【掛詞の見つけ方】

ポイント①　「地名」に多い！

ポイント②　「不自然な平仮名」の部分に注目！

ポイント③　「文章中のキーワード」の再現！

※　本文やリード文、注釈にも気をつける。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問4　次の本文中の和歌には掛詞が用いられている。それを指摘して説明せよ。

日ごろ牛を失ひて求めわづらひけるほどに、絶え絶えになりにける女の家に、この牛入りてはべりければ、女の許より引かせて、「うしと見し心にはまさりはべりけれ」と言ひおこせてはべりける返り事に

かずならぬ　人を野飼ひの　心には　うしとものを　思はざらなむ

祭主輔親

問5　「尋ぬべき人もなぎさの住の江にたれまつ風の絶えず吹くらん」の和歌から掛詞を三つ指摘せよ。

問6　次の傍線部は掛詞として二つの意味が兼ねられています。その意味を示す言葉をそれぞれ漢字一字で答えなさい。

ただの紙の、いと白うきよげなるに、よき筆、白き色紙、陸奥紙などえつれば、こよなうなぐさみて…〈中略〉…、「かけまくもかしこきかみのしるしには鶴のよはひとなりぬべきかな」

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問7　「袖濡らす嘆きのもとを来て訪へば過ぎにし春の梅の下風」の和歌の中で掛詞の技法が使われている句はどれか。最も適当なものを選べ。

ア　初句　　イ　二句　　ウ　三句　　エ　四句　　オ　五句

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2　様々な修辞技法

①**本歌取り…有名な古歌の一部をそのまま利用**すること。

（例）み吉野の山の秋風さ夜ふけてふるさと寒く衣うつなり　『新古今和歌集』　参議雅経

み吉野の山の白雪つもるらしふるさと寒くなりまさるなり　『古今和歌集』　坂上是則

②**隠し題（物名(もののな)）**…和歌の中に、**地名や題名を隠して詠む**こと。

〈見つけ方〉

直前に「○○を詠め」「○○を題に…」などがあり、和歌中にその「○○」があった場合。

※**濁点をはずして、全て平仮名**で考えること。

問１　次の和歌Ａの中から隠し題の部分を抜き出せ。

さて、「日根といふことを歌によめ」とおほせごとありければ、この良利大徳、

Ａ　ふるさとのたびねの夢に見えつるはうらみやすらむまたととはねば

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問2　次の和歌の中から隠し題の部分を抜き出せ。

御門のひちりきを詠ませられけるに
めぐりくる春々ごとに桜花いくたび散りき人に問はばや

③**折り句…各句の初めの一字をつなげると、ある言葉になる**もの。（「隠し題」のひとつ）

（例）唐衣（から）　**き**つつなれにし　**つ**ましあれば　**は**るばるきぬる　旅（たび）をしぞ思ふ
「かきつはた」→「かきつばた」

④**沓冠（くつかうぶり）…各句の初めの一字を初句→五句へと読み、次に各句の最後の一字を五句→初句へとさかのぼって読む**（もしくは初句→五句へ読む）**と、あるメッセージになる**もの（「くつかぶり」「くつかむり」とも）。

（例）夜（よ）も涼（すず）し　寝覚（ねざ）めのかりほ　手枕（たまくら）も　真袖（まそで）も秋（あき）に　へだて無（な）き風（かぜ）

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問3　次の和歌は右〔＝④〕の（例）の和歌の返事である。右のメッセージに対する返答はどのようなものか。

夜も憂しねたく我が背子（せこ）果ては来ずなほざりにだにしばしとひませ

⑤**体言止め**…最後が体言で終わっている和歌。

（例）　寂しさに堪へたる人のまたもあれな庵並べむ冬の山里

⑥**見立て**…現実にあるものを別のものにたとえて表現すること。

（例）　さくら花散りぬる風のなごりには水なき空に浪ぞたちける

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　復習問題

① 「うしみつ」は「丑三つ」と「憂し見つ」の、「ね」は「子」と「寝」の両方の意味を表している。このような和歌の技巧を何というか。最も適切なものを次の中から選べ。

ア　縁語　　イ　掛詞　　ウ　序詞　　エ　対句　　オ　枕詞

② 「もろともにながめし人もわれもなき宿には月やひとりすむらん」の和歌の中で用いられている掛詞を漢字で書いた組合せとして、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　「眺め」と「長雨」　　イ　「無き」と「渚」

ウ　「一人」と「火取り」　　エ　「住む」と「澄む」

③ 次の歌の中で使われている技法は何か。最も適当なものを後の中から選べ。

ませのうちなるしら菊も　うつろふみるこそあはれなれ
我らがかよひて見し人も　かくしつつこそかれにしか

ア　掛詞　　イ　枕詞　　ウ　本歌取り　　エ　沓冠

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　枕詞・掛詞などの〔演習編〕

【予習制】問題を解いた上で動画を見てください

問1　「たまきはる」という語は、「ぬばたまの」と同じく和歌において特定の語の前に置かれる修辞の言葉である。このような言葉を何と呼ぶか、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　歌枕　　イ　縁語　　ウ　掛詞
エ　序詞　　オ　枕詞

問2　「さやの中山」「宇津の山」は和歌に詠まれた名所であるが、これを修辞上で何と言うか。次のうちから一つ選べ。

ア　掛詞　　イ　枕詞　　ウ　序詞
エ　歌枕　　オ　縁語

問3　「ひさかたの光のどけき春の日に静心なく花の散るらむ」の和歌に使われている枕詞はどれか。過不足なく抜き出せ。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問4　「あらざらんこの世の中の思ひ出に今一度（いまひとたび）は猫なくもがな」は著名な和歌に依拠する技巧を使っている。その技巧の名称として最も適当なものを、次のうちから一つ選べ。

ア　掛詞　　イ　隠喩　　ウ　縁語
エ　本歌取り　　オ　対句

問5　次の傍線部は、和歌の修辞技巧について言及していると考えられる。その技巧の名称として最も適当なものを、後の中から一つ選べ。

本歌にあればとて、あらかねの土、あまざかる鄙（ひな）、しながどり猪名野（ゐなの）、かくのごとくの言葉、いかにも斟酌（しんしゃく）あるべし。

ア　縁語　　イ　序詞　　ウ　本歌取り
エ　枕詞　　オ　見立て

問6　「立ち別れいなばの山の峰に生ふるまつとし聞かばいま帰り来む」の和歌に使われている掛詞はどれか。三文字および二文字で二箇所を抜き出せ。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問７　次の文章を読んで、**問**に答えよ。

僧喜撰（きせん）が住みし山も近かりし。則ち喜撰が岳と言ひ伝ふるなり。押し並びて三室戸（みむろと）といふ高山聳（そび）えつつ、老松琴（きん）を吟（ぎん）じ、夜わたる猿の声いとわびし。麓（ふもと）なる寺院三十三所の巡礼札を打つ観音堂あり。順礼歌とて昔より、

Ａ　夜もすがら月を見むろも明け行けば宇治の川瀬に立つは白波

問　Ａの歌から掛詞を一つ見つけ、何と何が掛けられているか、漢字の書き分けで説明せよ。

掛詞は（　　　　）で、（　　　　）と（　　　　）が掛けられている。

問８　「時雨のみふるやなればぞ濡れにけむ立ち隠れけむことやくやしき」の傍線部について、掛詞を明らかにしつつ、現代語訳しなさい。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問9　「身のうみの思ひなぐ間は今宵かなうらに立つ浪うち忘れつつ」の上の句について、用いられている修辞に気をつけながら傍線部を現代語訳せよ。

問10　次の文章を読んで、後の**問**に答えなさい。

Ａ　しぐれする　いなりの山の　紅葉葉（もみぢば）は　あをかりしより　思ひそめてき

これは、和泉式部の稲荷（いなり）へ参りけるに、時雨のしければ、道にあへりける牛飼童（うしかひわらは）の襖（あを）をぬぎて着せたりけるを、かづきてうれしきことなりと云ひてやみにけるに、後にこの童、式部がもとに来りければ、なにごとに、など尋ねけるによめる歌なり。

注　稲荷…京都にある伏見稲荷大社。

問　Ａの歌について、次の空白部に適切な語句を補いなさい。

歌の中で、（　ア　）の句は、二つの意味が掛かっており、一つは「和泉式部が牛飼童から（　イ　）を借りた時から」の意味で、もう一つは、「まだ色付いていなかった時から」の意味である。

ア＝　　　　　　イ＝

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問11　作者の夫である藤原兼家の訪れが途絶えがちになる中、天禄元年五月、兼家の伯父にあたる実頼が亡くなった。訪れのないまま兼家は作者に喪服の仕立てを依頼するが、作者の気持ちを顧みない兼家に腹を立てて依頼を断り、兼家との仲はますます険悪になっていった。次の文章を読んで、後の**問**に答えよ。

さながら六月になりぬ。かくて数ふれば、夜見ぬことは三十余日、昼見ぬことは四十余日になりにけり。〈中略〉人目もいと恥づかしうおぼえて、落つる涙おしかへしつつ、臥して聞けば、鶯ぞ折はへて鳴くにつけておぼゆるやう、

　鶯も期（ご）もなきものや思ふらむみなつきはてぬ音をぞなくなる

問　次の文章は、傍線部の歌の解説である。空欄に適切な語句を入れよ。

「鶯も」というのは、「私と同じく鶯も」ということであり、「期もなき」は「終わることのない、果てしない」という意味である。「ものや思ふらむ」は現代語に訳すと「　i　」で、上の句全体を訳すと「私と同じく鶯も終わることのない（　i　）」となる。「みなつきはてぬ」は「皆尽き果てぬ」で「尽き果てることがない」の意味であるが、「（　ii　）はてぬ」が掛けられている。また、「なく」も「　iii　」と「　iv　」の掛詞であり、下の句全体を訳すと「（　ii　）になっても鶯が尽き果てることなく（　iii　）のが聞こえ、私も尽き果てることなく（　iv　）のだ」となる。

i＝

ii＝　　　　iii＝　　　　iv＝

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問12　次の傍線部について、この語句は掛詞になっている。何と何が掛けてあるか、説明せよ。

紫式部が渡殿の局に寝た夜のこと。しきりに戸を叩く人がある。彼女は戸を開けようともせず、じっと息をころしている。翌朝、道長から歌が届けられた。

夜もすがら水鶏(くひな)よりけになくなくぞまきの戸ぐちにたたきわびつる

彼女はそれを読み、すぐに返事を書いて持たせてやった。

ただならじとばかりたたく水鶏ゆゑあけてはいかにくやしからまし

問13　次の文章は、与謝蕪村が自ら描いたうさぎの餅つきの絵に添えたもので、傍線部中には掛詞が二つ用いられている。それぞれ、わかりやすく説明しなさい。

よすがらごとごとと、もののひびく音しければ、あやしくて立出(たちい)で見るに、古寺の広庭に、老いたるをのこの麦を舂(つ)くにて有りけり。やがて立ちよりて、名は何といふぞと問へば、宇兵衛と答ふ。

涼しさに麦を月夜(つくよ)の卯兵衛哉(かな)

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問14　次の本文中の傍線部の和歌には掛詞が用いられている。それを指摘して説明せよ。

今は昔、大隅守（おおすみのかみ）なる人、国の政（まつりごと）をしたため行ひ給ふあひだ、郡司のたびたびしどけなき事あれば、重く戒めむとて召すなりけり。※笞（しもと）を設けて、打つべき人設けて、先に人二人引き張りて出で来たるを見れば、頭は黒髪も混らず、いと白く、年老いたり。見るに、打ぜ（ちやう）む事いとほしく覚えければ、何事につけてかこれを許さむと思ひて、「歌は詠みてむや」といへば、「詠み候ひなむ」と申しければ、「さらば仕れ」といはれて、程もなく、わななき声にて打ち出す。

年を経て頭の雪はつもれどもしもと見るにぞ身は冷えにける

といひければ、いみじうあはれがりて、感じて許しけり。

注　笞…鞭（むち）

問15　次の傍線部中にある掛詞について説明せよ。

池田正式（まさのり）は、*和州郡山の藩士なり。〈中略〉身軽き勤めゆゑ、心まかせに花を見ることならずと慷慨（こうがい）して、

そばに居て見ぬや吉野のはなの先

＊和州郡山…地名。現在の奈良県大和郡山市。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問16　Ⅰの和歌は、「世の中はなにかつねなる飛鳥川昨日の淵ぞ今日は瀬になる」（古今集・雑下）を踏まえて詠まれており、掛詞が一つある。どのことばが何と何の掛詞であるか指摘しなさい。

殿上人など通ひまゐりて、藤の花いとおもしろきを、これかれ、「さかりをだに御覧ぜで」などいひて見歩くに、文をなむ結びつけたりける。あけて見れば、

Ⅰ　世の中のあさき瀬にのみなりゆけば昨日のふぢの花とこそ見れ

とありければ、…〈以下略〉

問17　「照る月を弓張としもいふことは山辺をさしていればなりけり」の和歌について説明した左の文章の空欄を補う最適な漢字一字をそれぞれ書け。

この和歌では傍線部の語に掛詞の技法が用いられており、「（　　）れ」と「（　　）れ」が掛けられている。

問18　次の傍線部は何と何の掛詞か説明しなさい。

乞者（きつしや）の歌

おこなひの　つとめてものの　ほしければ　にしをぞたのむ　くるるかたとて

これは、乞食のつねに来るが、東方にゐたる人は物をとらせず、西方にゐたる人はつねにとらせければ、そこにてよめるなり。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　復習問題

①　「富士の嶺は恋を駿河の山なれば思ひありとぞ煙立つらん」の歌に使われている技法を次の中から選べ。

ア　枕詞　　イ　懸詞　　ウ　体言止め　　エ　対句

②　「しかも［　］大和の国の人にて…」の［　］に入る枕詞として最も適当なものを次の中から選べ。

ア　あをによし　　イ　しきしまの

ウ　とぶとりの　　エ　やくもたつ

③　「あらましの年を重ねて白雪の世にふる道は今日ぞ嬉しき」の傍線部の掛詞の組合せとして、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　「降る」と「振る」　　イ　「古」と「振る」

ウ　「経る」と「振る」　　エ　「降る」と「経る」

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④　次のAの和歌中の何句目に掛詞があるか。最も適当なものを後の中から選べ。

内裏わたりのどやかなる春のつれづれに、雨さへ降りくらして、日もいと長きに、いとどおもひわびたまひては、春の物とてなどうちうめかれて、

A　うき人に見せばや袖の涙川けふのながめにまさる深さを

ア　初句　　イ　二句　　ウ　三句　　エ　四句　　オ　五句

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講　序詞／縁語

1 序詞

通常七音以上。ある語句を導くためのもの。作者が独自に創り出す。訳す。

〈見つけ方〉 ※**前半**「　　・　　」＋**後半**「　　・　　」の場合、**前半が〈序詞〉**になりやすい。

a　**「の」形**
b　**同音**（類音）の**反復**
c　**掛詞の直前**
d　**比喩**

a　**「の」形**…「の」（←二句目か三句目の最後〔音で数えて12音目か17音目〕にある場合が多い）が、「～のように、のような」と訳せたら、そこまでが序詞。

（例）　瀬をはやみ岩にせかるる滝川のわれても末に逢はむとぞ思ふ

来ぬ人をまつほの浦の夕なぎに焼くや藻塩の身もこがれつつ

注　まつほの浦…現在の兵庫県津名郡淡路町の海浜。淡路島の北端。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

b

同音（類音）の**反復…二つ目の同音の直前まで**が序詞。

（例）　ほととぎす鳴くや五月のあやめ草あやめも知らぬ恋もするかな

c

掛詞の直前までが序詞。

（例）　難波江の葦の［かりね］のひとよゆゑみをつくしてや恋ひわたるべき

＊「かりね」が「刈根」と「仮寝」の掛詞

d

比喩の部分が序詞。

（例）　み熊野の浦の浜木綿（はまゆふ）百重（ももへ）なす心は思（も）へど直（ただ）に逢はぬかも

由良のとを渡る舟人かぢを絶え行方も知らぬ恋の道かな

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問1　次の歌の「安積香山影さへ見ゆる山の井の」の説明として、最も適切なものを後の中から選べ。

※安積香山（あさかやま）影さへ見ゆる山の井の浅き心を我が思はなくに

※安積香山……福島県郡山市の北部にある小山の名

ア　枕詞　　イ　序詞　　ウ　懸詞　　エ　縁語

問2　和歌「壁に生ふるいつまで草のいつまでかかれずとふべき篠原の里」の傍線部の修辞法を何というか。次の中から選べ。

注　いつまで草…植物の名前。

ア　枕詞　　イ　掛詞　　ウ　序詞
エ　縁語　　オ　折句　　カ　沓冠

問3　「したにのみ恋ふれば苦し紅（くれなゐ）の末摘花（すゑつむはな）の色に出で（い）ぬべし」の和歌についての次の説明文の空欄に、最適な和歌の修辞名を漢字二字で記せ。

＊末摘花…ベニバナの別名。

この歌の「紅の末摘花の」は、思いが外にはっきり表れることを、ベニバナの鮮やかな紅色でたとえる［　　］である。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2 縁語

歌の中の中心的な名詞に関連の深い語を詠みこむこと。

〈見つけ方〉

a　**自立語**（＝助詞・助動詞以外）**のみ**
b　**歌の文脈に関わらない**
c　**掛詞の片方**が縁語になっていることが多い
d　**掛詞が複数**ある場合、**「景色や事物」どうしが縁語**になっていることが多い

（例）　鈴鹿山うき世をよそにふり捨てていかになりゆくわが身なるらん

問１　「秋風の音さへかはる鈴鹿山ふるさと今や遠くなるらん」の和歌には、山の名前「鈴鹿山」に含まれる「鈴」からの連想を生かした修辞技法が使われている。その技法について、技法の名前をあげながら、具体的に説明しなさい。

〈例題１〉　次の和歌中の縁語を説明せよ。

袖ひちて　むすびし水の　凍れるを　春立つ今日の　風やとくらむ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★よく出るパターン

●衣…着る・袖・裁(た)つ・裏（＝裏地）・萎(な)る（＝衣服がよれよれになる）・褄(つま)（＝着物の裾の左右両端の部分）・張る（＝布につやをだしたり、伸ばしたりするために、糊をつけて板に張る）

●袖…張る・覆(おほ)ふ・涙・結ぶ（＝男女の袖が重なる→深い関係になる）・解(と)く（＝結んだ袖を解く→男女が共に夜を過ごし翌朝に別れる）・断(た)つ（＝袖をもう結ばない→男女が関係を断つ）

●糸…乱る（＝からまる）・ほころぶ（＝ほどける）・縒(よ)る（＝糸を何本かねじって一本にする）・繰(く)る

●水…汲(く)む・掬(むす)ぶ（＝水を手ですくう）

●川…流れ・沈む・底・瀬（＝浅い部分）・淵（＝深い部分）・わたる

●浦…海人(あま)（海女(あま)・海士(あま)）・海松(みる)（＝海藻の名）

●波…立つ（＝発生する）・超(こ)ゆ・濡(ぬ)る・掛(か)く（＝かかる）・返る（＝沖へ戻っていく〔寄せては返す〕）・浦・音

●霧…晴る・立つ（＝立ちこめる）・空

●露…消ゆ・置く（＝発生する）・結ぶ（＝結露する）・葉・野・秋・命（＝「はかないもの」）

●緒(を)（＝「命」）…絶ゆ・弱る・永らふ

●煙(けぶり)…火・くゆる（＝くすぶる）・なびく

●藻塩(もしほ)…焼く（＝海藻を焼いて塩をとる）・焦(こ)がる（＝同様に海藻を焦がして塩をとる）

●草…萌ゆ（＝芽を出す）・刈る・結ぶ（＝占いや道しるべで草を結んだり、野宿をする時に草を結んで枕にした）・芽

●鏡…曇る・現(あら)はる・影

●笠…天(あめ)・天(あま)・さす

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●髪…長し・乱る
●鈴…なる・ふる
●弓…張る・射る・引く・反る
●芦…根・節（ふし）・節（よ）（＝節と節の間の部分）
●竹…根・節（ふし）・節（よ）

問２　次の傍線部「衣」の縁語はどれか。後の中から一つ選べ。

君（きみ）とおやのあつきめぐみに旅衣（たびごろも）なれぬ野山（のやま）のすゑもたどらじ

ア　おや　　イ　めぐみ　　ウ　なれ　　エ　野山　　オ　たどらじ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講　復習問題

①　和歌「あしひきの山鳥の尾のしだり尾のながながし夜を一人かも寝む」の傍線部のような技法（修辞）を何というか。次の中から選べ。

ア　掛詞　　イ　枕詞　　ウ　縁語
エ　序詞　　オ　歌枕

②　「風吹けば沖つ白浪たつた山夜半にや君がひとり越ゆらむ」とは表現の方法が異なる和歌を、次の中から一つ選べ。

ア　由良のとを渡る舟人かぢを絶えゆくへも知らぬ恋のみちかな
イ　あしひきの山鳥の尾のしだり尾のながながし夜をひとりかも寝む
ウ　人はいさ心も知らずふるさとは花ぞ昔の香ににほひける
エ　瀬をはやみ岩にせかるる滝川のわれても末にあはむとぞ思ふ

③　「深き」、「結び」、「流れ」、「せき」などは、「細河」に関わる言葉である。このような修辞上の技法を何というか。最も適当なものを、次のうちから一つ選べ。

ア　序詞　　イ　掛詞　　ウ　縁語　　エ　枕詞　　オ　重詞

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④　次の和歌に用いられている修辞法を、後の中から**二つ**選べ。

鳴く声も聞こえぬ虫のおもひだに人の消つには消ゆるものかは

ア　枕詞　　イ　序詞　　ウ　掛詞　　エ　歌枕
オ　対句　　カ　折句　　キ　縁語　　ク　倒置

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講　縁語【演習編】／引き歌／その他の問題傾向

1 縁語〔演習編〕

【予習制】問１～問４を解いた上で動画を見てください

問１　「呉竹のよの外ならで世のわざのうきふししらぬ陰ぞしづけき」の縁語について、例にならって説明せよ。

（例）「はる」「き」「つま」が、「唐衣」の縁語。

問２　次の和歌に用いられている修辞法として適切なものを、後の中から二つ選べ。

きのふ見し*すがたの池に袖ぬれてしぼりかねぬといかでしらせん

*すがたの池…現在の奈良県にある菅田神社近くの池。

ア　枕詞　　イ　掛詞　　ウ　倒置
エ　縁語　　オ　序詞

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問３　次の和歌の縁語を説明せよ。

かくとだにえやはいぶきのさしも草さしも知らじな燃ゆる思ひを

注　さしも草…モグサ。ヨモギの葉の裏にある繊毛を精製したもの。お灸に使用される。

問４　後の文章は、次の文章中の傍線部「涙川そことも知らずつらき瀬を行きかへりつつなかれ来にけり」の和歌に用いられた修辞について説明したものである。空欄部ｉ～ⅲのそれぞれに適する語句を答えよ。

げにいと小さく、あばれたる家なり。見るより悲しくて、うちたたけば、この女は来着きにしより、さらに泣き臥したるほどにて、「誰そ」と問はすれば、この男の声にて、

涙川そことも知らずつらき瀬を行きかへりつつなかれ来にけり

「そこ」は「其処」と「（　ｉ　）」を掛けた掛詞であり、「なかれ」は「流れ」と「（　ⅱ　）」を掛けた掛詞である。また、「（　ｉ　）」「瀬」「流れ」は「（　ⅲ　）」の縁語である。

ｉ＝

ⅱ＝

ⅲ＝

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2

引き歌

和歌の一部を引用して発言すること。

【重要】 ふまえられた和歌の **「引用されていない部分」** が一番伝えたいことになっている場合が多い。

問１　次の文章を読んで後の**問**に答えよ。

〈中略〉～思ひわきつつ、「いかにやいかに」とばかり、行末（ゆくすゑ）の心ぼそさはやるかたなきものから…〈以下略〉

問　傍線部「いかにやいかに」は、「世の中をかくいひいひのはてはてはいかにやいかにならむとすらむ」（『拾遺和歌集』雑上・読人しらず）の下の句の一節をふまえた表現である。ここに込められた筆者の気持ちを説明したものとして、最適なものを次の中から選べ。

ア　これから私の身はどうなってしまうのだろう

イ　これからの私の身はどうなってもかまわない

ウ　どうして私の身はこんなことになったのだろう

エ　どうにかして私の身の上を変えたいものだ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問2 「種しあれば、かかる荒磯にも、生ひ出づる松はありけるものを」は、『古今和歌集』の「種しあれば岩にも松は生ひにけり恋ひをし恋ひば逢はざらめやも」という歌をふまえた表現である。男は、これによって、どのようなことを伝えようとしているのか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 厳しい自然環境であっても、種がいつかは常緑の松に育つように、初めは淡い恋心であっても、互いに心変わりしなければ、こうして固いきずなで結ばれるのだということ。

② 厳しい自然環境であっても、種さえあればいつかは松が生えるように、ひたすら恋し続ければ、どんなに困難な状況であっても、こうして一緒になれるのだということ。

③ どのような自然環境であっても、種から松が育つには年月がかかるように、恋が芽生えたとしても、心から信頼し合える仲になるまでには、長い時間が必要なのだということ。

④ 厳しい自然環境であっても、種がいつしか大木の松に育つように、辛抱強く待ち続ければ、たとえ時間はかかったとしても、こうして待ち人は来てくれるのだということ。

⑤ どのような自然環境であっても、種がなければ松は生えてこないように、どんなに恋い慕っても、相手が応じてくれなければ、恋が成就することはないのだということ。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問３　次の文章は、荒木田麗女『五葉』の一節で、妻に先立たれた式部卿の宮（親王）が、后の宮に預けた子どもたちのもとを訪れた場面である。これを読んで、後の**問**に答えよ。

（姫君は）このごろにいみじうおよすげて笑みがちにうつくしう見え給ひ、親王のさし寄らせ給へば、たかやかに物語し給へる御顔の匂ひなどは、ただ母君のそのままにうつしとり給へるを見給ふには、えたへ給はず、かきくらされ給ふ。宮も「『見るに心は』とつゆけうのみおぼえ侍る」とておしのごはせ給ふ。〈以下略〉

問　傍線部は、ある和歌を踏まえた表現である。その和歌はどれだと考えられるか。次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 女郎花見るに心は慰までいとどむかしの秋ぞ恋しき
② 女郎花見るに心は慰まで都のつまをなほしのぶかな
③ よそにても見るに心は慰まで立ちこそまされ賀茂の川波
④ しのぶ草見るに心は慰まで忘れがたみに漏る涙かな
⑤ かたみぞと見るに心は慰まで乱れぞまさる妹が黒髪

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問4　筆者（翁）の十七歳になる娘は四月から病の床にあり、回復の兆しも見えないまま、新年を迎えた。「はや咲きにけり。春のゆくへも知らぬ間に」は、「たれこめて春のゆくへも知らぬ間に待ちし桜もうつろひにけり」（『古今和歌集』春下、藤原因香）という和歌の表現を踏まえている。これを参考にして、娘が言い表したかったことの説明として最も適当なものを、次の①〜⑤のうちから一つ選べ。

① 自分が気づかない間に桜が咲いていたのだという感慨と、春霞がたちこめるころが命の限りだと言われていたので、春の移り変わりを最後までは見届けられないだろうという思い。

② 心待ちにしていた桜が咲いていたのだという感慨と、病気のため部屋にこもっているので、春の移り変わりを肌身に感じられないまま、やがて命を終えてしまうだろうという思い。

③ 桜が咲いたことにまったく気づかなかったという失望と、その桜が春の移ろいとともにやがては散ってしまう運命にあるのに、それを知らずに咲き誇っていることをあわれむ気持ち。

④ 自分が気づかない間に桜が満開になっていたのだという驚きと、今を盛りと咲き誇っている桜もやがては散ってしまうように、若い自分も次第に年老いてしまうだろうという思い。

⑤ 自分が気づかない間に早咲きの桜が咲いたのだという驚きと、暗い気持ちで部屋に閉じこもっていたため、心待ちにしていた春の到来にもまったく気づかなかったことを悔やむ気持ち。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3　その他の問題傾向

●意味

①　**後半の七・七が重要なものが多い。**（倒置法の場合は注意）

②　主語把握…命令形＝「和歌の受け手」／それ以外＝「詠者」が多い

③　贈答歌の場合は、後半だけではなく、二つの和歌の共通する言葉に注意。

●穴埋めの選択肢の選び方

①　一部分…残されている部分が手がかりとなる。

②　贈答歌の和歌全体を選ぶ…もう一方の和歌と**共通する言葉が多い選択肢が正解の可能性が高い**ので、それを目安にして、もう一方の和歌ときちんと辻褄のあうものを選ぶこと。

問１　次の和歌Ａ・Ｂが贈答歌であることを踏まえて、空欄に適語を補え。

Ａ　清水のさわぐに影は見えねども昔に似たる滝の音かな

Ｂ（　　　　）も昔聞きしにかはらずは流れて絶えぬ心とを知れ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問2　次の空欄（ａ）（ｂ）（ｃ）（ｄ）は、和歌的な修辞法で、意味あるいは音のつながりによって次の言葉を導く語句が入る。その組み合わせとして最も適当なものを、後の①～⑤のうちから一つ選べ。

たびごろもうらぶれやすめよなど、（ａ）ねもごろにいへれば、いざ、ひと日ふつかもありなむと思ふほどに、（ｂ）あさからず、（ｃ）ふかきなさけに、なにくれと、（ｄ）めやすう馴（な）れむつび、…

①（ａ）木曾（きそ）の麻ぎぬ　（ｂ）夏野の草の　（ｃ）諏訪（すは）の海の　（ｄ）引く網の
②（ａ）引く網の　（ｂ）木曾の麻ぎぬ　（ｃ）夏野の草の　（ｄ）諏訪の海の
③（ａ）夏野の草の　（ｂ）諏訪の海の　（ｃ）引く網の　（ｄ）木曾の麻ぎぬ
④（ａ）引く網の　（ｂ）諏訪の海の　（ｃ）夏野の草の　（ｄ）木曾の麻ぎぬ
⑤（ａ）夏野の草の　（ｂ）木曾の麻ぎぬ　（ｃ）諏訪の海の　（ｄ）引く網の

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問３　次の文章は、『日光山縁起』の一節である。有宇中将は狩猟に熱中するあまり、帝の怒りに触れ、都を出た。東山道下野の国二荒山を経て陸奥国へ行き、朝日の君と結婚、幸福な生活を送り、六年がたった。以下の文章は、それに続くものである。これを読んで、後の**問**に答えよ。

～また（朝日の君が）申させ給ひけるは、「行く末に川あり。妻離川と申せり。この川の水を飲みぬればふたたび妻にあはずと申すなり。かまへて飲み給ふな」と仰せけり。やうやう行き給ふほどに、一日行きて大川あり。かの水を御覧ずるより、飲まんと思ひ給ふこと限りなし。さりながら、人の教へをおぼしめし出でて、渡らせ給ひけるが、命も絶えぬべかりしほどに、力なく飲ませ給ひけり。それより御身いたはりて、川近き野辺に五日ふしなやみ給ひけり。されども息吹き出でさせ給ひけり。

さて馬に向かひて仰せけるは、「わが命ながらふべしともおぼえず。いづちへも心しづかならむ所へとくとく具足せよ」と仰せければ、～〈中略〉～また朝日の君へも御文こまごまとあそばして、かくなむ。

　A ちぎりおきし妻離川の水ゆゑに露の命となりにけるかな

とあそばして、鷹に向かひてのたまひけるは、「馬は都へ行きぬ。汝この文朝日の君に奉れ」とて、賜ばせ給ふ。さるほどに、朝日の君の縹の帯解けたりけるほどに、あやしみて、夜にまぎれあくがれ出で給ひつつ、七日と申すに妻離川に着き給ひぬ。いづくともなく、鷹飛び来りて御文を落とす。中将殿の御文なりければ、やがて御返しあり。

　B 結びおきし縹の帯をしるべにて別れし君を尋ねてぞ行く

「われよりさきにとくして奉れ」と仰せければ、鷹、急ぎ飛び帰りけり。

問　傍線部Ａ・Ｂの歌を詠むことにより、中将と朝日の君はそれぞれ何を伝えようとしたのか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

①　中将は、約束を忘れてしまったために、危機に直面していることを伝えようとし、朝日の君は、縹の帯が解けてしまったことに不吉な兆しを感じて、別れたあなたの無事をどうしても確かめたいという決意を伝えようとした。

②　中将は、約束に忠実に従い、なんとか命をつないでいるうちにどうか助けに来てほしいということを伝えようとし、朝日の君は、固い約束の証（あかし）である縹の帯を目印にして、すぐにあなたを助けにいくという決意を伝えようとした。

③　中将は、約束を守りきれなかったために、私の命は今にも消えてしまいそうだということを伝えようとし、朝日の君は、固い絆（きずな）の証として結んだ縹の帯を手引きとして、別れたあなたを探し出すのだという決意を伝えようとした。

④　中将は、約束に背いてしまったせいで罰をうけ、殺されてしまうかもしれないということを伝えようとし、朝日の君は、不用意に縹の帯を解いてしまったことに動揺し、必ずあなたを救い出すのだという決意を伝えようとした。

⑤　中将は、約束を思い出したおかげで、辛うじて雨露をしのいで生き延びているということを伝えようとし、朝日の君は、固い絆の証として結んだ縹の帯を頼りに、別れたあなたを見つけ出すのだという決意を伝えようとした。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問４　次の文章は『松浦宮（まつらのみや）物語』の一節である。大将と明日香（あすか）の皇女（みこ）との子である弁の少将（弁の君）は、神奈備（かんなび）の皇女に思いを寄せていた。二人は歌の贈答などをすることもあったが、神奈備の皇女は帝のもとへ入内（じゅだい）することになり、弁の少将は遣唐副使に任命され渡唐することになった。以下の文章は、それに続くものである。これを読んで後の**問**に答えよ。

～〈中略〉～神奈備の皇女、

ａ　もろこしの千重（ちへ）の波間にたぐへやる心もともにたちかへりみよ

今はと参りたまひしのち、ひと言葉の御なさけもなかりつるを心憂しと思ふに、なほ折過ぐさずのたまへるを見るに、血の涙をながせど、使ひはまぎれうせにければ、ただとどまる人につけて、（注１）女王の君のもとに、

ｂ　（注２）息の緒に君が心したぐひなば千重の波わけ（注３）身をも投ぐ（注４）がに

１　女王の君――神奈備の皇女付きの女房。
２　息の緒――命。
３　身をも投ぐ――「身を」に「水脈（みを）」を、「投ぐ」に「凪（な）ぐ」を掛ける。
４　がに――ここではある事柄の実現を期待する意。

問　ａ・ｂ二首の贈答歌には、それぞれ詠み手のどのような心情がこめられているか。最も適当な組合せを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

①

a　入内した今となってはあなたのお気持ちに応(こた)えることはできませんが、大海原のかなたから無事のご帰国を願っています。

b　私に対するあなたのお心がもはや変わってしまったのであるならば、私は大海原に身を投げて、いっそ命を絶ってしまいたいと思っています。

②

a　入内の定まった身ではありますが、私もすぐにあなたのあとを追って、大海原を分けて唐に渡って行きたいと思っています。

b　いつまでも私のそばにいてくださるというあなたのお気持ちが本当のものであるならば、私も大海原に身を投げて死ぬということなど考えもしないでしょう。

③

a　たとえ大海原を隔てても、私の心はいつもあなたのおそばに寄り添って、無事にご帰国になるまでお守り申し上げることでしょう。

b　あなたの心が本当に私の身に寄り添ってついて来てくださるならば、私は大海原を分けてきっと無事に帰ってくることができるでしょう。

④

a　たとえ入内の定まった身ではあっても、私の命のある限り大海原のかなたからあなたのご帰国をいつまでもお待ち申し上げています。

b　あなたのお気持ちがいつまでも変わらないものであるならば、私は大海原を分けて安心して唐に渡ることができるでしょう。

⑤

a　たとえ大海原を隔てても、あなたの心が私の身にいつも寄り添ってくださるならば、私は少しも寂しいことなどありません。

b　あなたの心が私の心と同じように愛情に満ちたものであるならば、私は大海原に身を投げてでも必ず帰ってくるでしょう。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講　復習問題

① 次の文章は、「なにかげに人の折りけるもみぢ葉を心移して思ひそめけむ」の歌についての説明文である。説明文中の空欄［a］・［b］には、それぞれどのような語句を入れたらよいか。最も適切な組み合わせを、次のア〜エの中から一つ選べ。

「そめ」は「思ひ初め」の「初め」と「染め」との［a］、「折り」「染め」は「もみぢ」の［b］である。

ア　a　掛詞　　b　縁語
イ　a　枕詞　　b　序詞
ウ　a　掛詞　　b　枕詞
エ　a　序詞　　b　縁語

② 「富士の嶺は恋を駿河の山なれば思ひありとぞ煙立つらん」の歌に使われている技法を、次のうちから二つ選べ。

ア　枕詞　　イ　懸詞　　ウ　体言止め
エ　縁語　　オ　対句

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第六講　文学史❶

〈時代と特徴〉
上代（奈良時代）
中古（平安時代）＝貴族
中世（鎌倉・南北朝・室町・安土桃山）＝武士
近世（江戸時代）＝町人（上方→江戸）
近代（明治時代以降）

1　上代（奈良時代）　八世紀

【歴史書】

『古事記』…七一二年成立。**最古の歴史書**。編者＝**太安万侶**（おおのやすまろ）（稗田阿礼（ひえだのあれ）が暗誦していた事柄を、記録したもの）。神話や伝説が多い。**紀伝体**（人物中心に記述）。漢文体。

『日本書紀』…七二〇年成立。※**六国史**（りっこくし）の最初。編者＝**舎人親王**（とねりしんのう）。元正（げんしょう）天皇の勅命。**編年体**（年代順に記述）。漢文体。

※**六国史**＝六編（左記参照）の正史書の総称。
『日本書紀』『続日本紀』（しょくにほんぎ）『日本後紀』『続日本後紀』（しょくにほんこうき）『日本文徳天皇実録』（もんとく）『日本三代実録』

★『古事記』と『日本書紀』をあわせて「**記紀**」という。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【地誌】

『風土記（ふどき）』…七一三年成立。**常陸（ひたち）・肥前（ひぜん）・播磨（はりま）・豊後（ぶんご）・出雲（いずも）**の五つが現存する。

『出雲風土記』が完全な形で現存。

【漢詩・和歌】

『懐風藻（かいふうそう）』…七五一年成立。**最古の漢詩集**。編者＝淡海三船（おうみのみふね）。大友皇子（おおとものおうじ）・阿倍仲麻呂（あべのなかまろ）の作品。

『万葉集』…七五九年成立。**最古の和歌集**。編者＝**大伴家持（おおとものやかもち）**。二十巻・約四千五百首。

「表記」＝**万葉仮名**。

「三大部立」＝**挽歌（ばんか）**（死）・**相聞（そうもん）**（愛）・**雑歌（ぞうか）**（それ以外）

＊その他に**東歌（あずまうた）**（東国地方）・**防人歌（さきもりのうた）**（北九州地方）の歌もある。

「歌体」＝短歌（５７５７７）が多い。長歌（５７５７…７７）・旋頭歌（せどうか）（５７７５７７）など。

「歌風」＝四期に分ける。

〈第一期〉	**天皇関係**	**額田王（ぬかたのおおきみ）**・天智天皇（てんじてんのう）
〈第二期〉	**宮廷歌人**	**柿本人麻呂（かきのもとのひとまろ）**・高市黒人（たけちのくろひと）
〈第三期〉	**最盛期**	**山部赤人（やまべのあかひと）**・**山上憶良（やまのうえのおくら）**（『類聚歌林』〈歌集〉を著した）・**大伴旅人（おおとものたびと）**
〈第四期〉	衰退期	**大伴家持（おおとものやかもち）**（＝『万葉集』を編纂）

『歌経標式』…最古の歌論書。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔演習問題❶〕

問１　「記紀」が書かれた時代はどれか、次の中から選べ。

ア　六世紀　イ　七世紀　ウ　八世紀　エ　九世紀　オ　十世紀

問２　『風土記』の中で最も著名な、出雲・播磨・常陸国風土記が編述されたのはいつごろか。

ア　六世紀　イ　七世紀　ウ　八世紀　エ　九世紀　オ　十世紀

問３　古事記・日本書紀についての文学史的説明として、最適なものを選べ。

ア　古事記は紀伝体で書かれ、日本書紀は編年体で書かれており、古事記の方が先に成立している。
イ　古事記は紀伝体で書かれ、日本書紀は編年体で書かれており、日本書紀の方が先に成立している。
ウ　古事記は編年体で書かれ、日本書紀は紀伝体で書かれており、古事記の方が先に成立している。
エ　古事記は編年体で書かれ、日本書紀は紀伝体で書かれており、日本書紀の方が先に成立している。
オ　古事記も日本書紀も編年体で書かれており、日本書紀の方が先に成立している。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問4　万葉集の編者の名も見られる奈良時代に成立した漢詩集は何か。次の中から最も適当なものを選べ。

ア　類聚歌林　イ　経国集　ウ　懐風藻　エ　日本霊異記　オ　文鏡秘府論
カ　新撰万葉集　キ　文華秀麗集　ク　歌経標式　ケ　凌雲集　コ　和漢朗詠集

問5　次の空欄に該当する作品名・人名を正しい漢字で省略せずに答えなさい。

『［ア］』は『古事記』よりやや遅れて、元正天皇の命により［イ］らによって編纂されたものである。以降の日本の正史・六編を六国史と呼びならわしている。

ア＝　　　　イ＝

２　中古（平安時代）①

九世紀初期＝「**国風暗黒時代**」…**遣唐使の派遣**
↓
九世紀終わり～十世紀＝「唐風文化から**国風文化**へ」…**遣唐使の廃止**、仮名の普及
↓
十世紀終わり～十一世紀＝「**平安女流文学**」…**藤原氏の摂関政治・宮中の女房**・仮名の普及
↓
十一世紀終わり＝「貴族衰退→**歴史物語の成立期**」…院政開始・**貴族の過去の栄光や批判**

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【漢詩集】

※中国の詩文集**『白氏文集(はくしもんじゅう)』**（**白楽天(はくらくてん)**〈**白居易(はくきょい)**〉）、**『文選(もんぜん)』**（昭明太子）の影響を受ける。

『凌雲集(りょううんしゅう)』（『凌雲新集』）…**最古の勅撰漢詩集**。編者＝小野岑守(おののみねもり)ら。

『文華秀麗集(ぶんかしゅうれいしゅう)』…勅撰漢詩集。編者＝藤原冬嗣(ふゆつぐ)。

『経国集(けいこくしゅう)』…勅撰漢詩集。編者＝良岑安世(よしみねのやすよ)ら。

『菅家文草(かんけぶんそう)』…作者＝**菅原道真(すがわらのみちざね)**。

【伝奇物語（つくり物語）】　十世紀

『竹取物語』…**最古の物語文学**。『源氏物語』に**「物語の出(い)で来(き)始(はじ)めの祖(おや)」**とある。

竹取の翁がかぐや姫を見つけて育てる話。

「三部」＝かぐや姫の生い立ち・五人の貴公子の求婚・かぐや姫の昇天

『宇津保物語』…〈前半〉「うつほ＝洞穴」に住む仲忠が琴を母から伝承。

〈後半〉貴宮に求婚。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

『落窪物語』…**継子いじめ物語**。**落窪の姫君**が**継母**からいじめられるが、**右近の少将**（**道頼**）と結婚して幸せになり報復する。
姫君の侍女＝**阿漕**（あこぎ）。少将の付き人＝**帯刀**（たちわき）。

【歌物語】　十世紀

『伊勢物語』…**「昔、男ありけり」**で始まる。**男＝在原業平**（ありわらのなりひら）（**在五中将**（ざいごちゅうじょう））とされている。別名**『在五が物語』『在五中将日記』**ともいう。「初冠」（ういこうぶり）から「辞世の歌」までの全一二五段から成る、業平の一代記である。最も多いのは恋愛談。
「みやび」の理念が貫かれていることから**「みやびの文学」**とも呼ばれる。

> ＊東下り〈九段〉
> 三河の八橋「から衣きつつなれにしつましあればはるばるきぬる旅をしぞ思ふ」→駿河「駿河なる宇津の山べのうつつにも夢にも人にあはぬなりけり」→富士「時知らぬ山は富士の嶺（ね）いつとてか鹿（か）の子まだらに雪のふるらん」
> →武蔵と下総の間の隅田河「名にし負はばいざこと問はむ都鳥わが思ふ人はありやなしやと」

『大和物語』…全一七三段。和歌を中心に独立した話で構成。**「姨捨山」**（おばすてやま）が有名。
〈前半〉有名歌人の恋愛話。〈後半〉説話のような内容。

『平中（へいちゅう）**物語』**…『伊勢物語』の影響を受ける。好色の**平貞文**（たいらのさだふみ）が主人公。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

十世紀ポイント！

〈伝奇物語〉
竹取物語
宇津保物語
落窪物語

〈歌物語〉
伊勢物語
大和物語
平中物語

【物語】

『源氏物語』…一〇〇四〜一〇一二年成立（**一〇〇〇年頃と覚えておく**）。

作者＝**紫式部**（**一条天皇**の**中宮彰子に仕えた女房**）。全五四帖。最後の十帖＝**『宇治十帖』**。

物語文学史上、最高傑作とされている。

「三部」＝第一部　光源氏の誕生〜青年期〈「桐壺」・「夕顔」・「須磨」・「明石」など〉

　第二部　光源氏の晩年〈「柏木」・「夕霧」など〉

　第三部　**宇治**で**薫大将**と**匂宮**が**浮舟**という女性を奪い合う。（**宇治十帖**）〈「匂宮」・「浮舟」など〉

＊**本居宣長**（もとおりのりなが）が**『源氏物語玉の小櫛』**（おぐし）で、『源氏物語』を**「もののあはれ」**と説く。

＊仏教の宿世観**「因果応報」**（いんがおうほう）が貫かれている。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

『堤（つつみ）中納言物語』…十編（『花桜折る少将』『このついで』**『虫めづる姫君』**『ほどほどの懸想（けそう）』『逢坂越えぬ権中納言』『貝合（かいあわせ）』『思はぬ方（かた）にとまりする少将』『はなだの女御（にょうご）』**『灰墨（はいずみ）』**『よしなしごと』）から成る**短編物語集**。作者未詳。

『夜の寝覚（夜半（よわ）の寝覚）』…作者＝菅原孝標女（すがわらのたかすえのむすめ）か？『源氏物語』の影響が強い。
権中納言と寝覚上との悲恋物語。

『浜松中納言物語』…作者＝菅原孝標女（すがわらのたかすえのむすめ）か？『源氏物語』の影響が強い。
舞台が唐の国にまで及ぶ悲恋物語。**輪廻転生（りんねてんしょう）**の思想が取り入れられている。

『狭衣（さごろも）物語』…恋の苦悩の話。『源氏物語』の「宇治十帖」の影響が強い。

『とりかへばや物語』…男女の兄妹が性別を入れ替えられて育てられる話。

【随筆】　一〇〇〇年頃

『枕草子』…**最古の随筆文学**。作者＝**清少納言**（**一条天皇の中宮定子に仕えた女房**。**「梨壺の五人」**の一人である**清原元輔（きよはらのもとすけ）**の娘）。
「をかしの文学」である。
類聚（るいじゅう）段（ものづくし）・日記段（宮廷生活の回想）・随想段（自然・人事）の三分類。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈演習問題❷〉

問１　次の中から、『落窪物語』と同じ「作り物語（伝奇物語）」に属するものを全て選べ。

ア　古事記　　イ　竹取物語　　ウ　伊勢物語
エ　大和物語　　オ　うつほ物語　　カ　平家物語

問２　『住吉物語』と同じく継子いじめの物語である作品を、次の中から選べ。

ア　とりかへばや物語　　イ　堤中納言物語　　ウ　落窪物語　　エ　狭衣物語

問３　日本文学史において、『平中物語』とともに歌物語に分類される作品を次からすべて選べ。

ア　平家物語　　イ　大和物語　　ウ　竹取物語　　エ　万葉集　　オ　今昔物語集
カ　宇治拾遺物語　　キ　源氏物語　　ク　古今和歌集　　ケ　伊勢物語　　コ　雨月物語

問４　『大和物語』の成立はいつごろか。次の中から一つ選べ。

ア　奈良時代の終わりごろ　　イ　室町時代の終わりごろ　　ウ　平安時代の中ごろ
エ　鎌倉時代の初めごろ　　オ　江戸時代の中ごろ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問5　業平の一代記を綴ったといわれる歌物語の作品名には、昔の国名が含まれているが、その国は現在の何県にあるか。次の中から選べ。

イ　滋賀県　　ロ　奈良県　　ハ　兵庫県　　ニ　三重県　　ホ　和歌山県

問6　『源氏物語』が成立した時期を、次の中から選べ。

ア　西暦七〇〇年頃　　イ　西暦八〇〇年頃　　ウ　西暦九〇〇年頃
エ　西暦一〇〇〇年頃　　オ　西暦一一〇〇年頃

問7　中宮定子ともっとも関係が深いと思われる文学作品を次の中から選べ。

ア　土佐日記　　イ　伊勢物語　　ウ　枕草子　　エ　源氏物語　　オ　更級日記

問8　『伊勢物語』との関係が想定できる箇所を次の中から二つ選べ。

ア　瀬田の唐橋駒もとどろと踏み鳴らし
イ　三河国八橋にもなりぬれば、蜘蛛手にものをとあはれなり
ウ　小夜の中山にかかり給ふにも、また越ゆべしとも覚えねば
エ　宇津の山辺の蔦の道、心細くも打ち越えて

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【歴史物語】　平安時代後期～鎌倉・南北朝

『栄花物語（栄華物語）』…平安後期に成立。**最初の歴史物語**。**編年体**。作者（編者）＝赤染衛門（あかぞめえもん）などか？
藤原道長の栄華を中心に歴史を描く（＝批判精神なし）。

〔四鏡（鏡物）〕

『大鏡』…**平安後期**（一一〇〇年頃）成立。**紀伝体**。
藤原道長の栄華中心（批判精神あり）。
紫野の**雲林院（うりんいん）**の**菩提講（ぼだいこう）**の前に、**大宅世継（おおやけのよつぎ）（一九〇歳）**と**夏山繁樹（なつやまのしげき）（一八〇歳）**と**若侍**の三人が会話をして話をすすめていく対話形式。**『世継物語』**ともいう。

『今鏡』…**平安末期**成立。**紀伝体**。作者が長谷寺詣での途中で出会った老女との対話形式。『小鏡（こかがみ）』ともいう。

『水鏡』…**鎌倉時代**成立。**編年体**。内容は一番古い時代のことが書かれている。
老尼が長谷寺で修行者を通じて葛城山の仙人から話を聞く形式。

『増鏡』…**南北朝**成立。**編年体**。嵯峨の清涼寺で老尼が回想談をする形式。史実に忠実。

※〔四鏡〕の「鏡」には「**歴史の真実を写す**」という意味がある。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈演習問題❸〉

問1　『増鏡』と違うジャンルの作品を次の中から選べ。

ア　栄花物語　　イ　大鏡　　ウ　今鏡　　エ　増鏡　　オ　太平記

問2　『今鏡』と同じジャンルの作品を次の中から一つ選べ。

ア　日本書紀　　イ　吾妻鏡　　ウ　古今著聞集　　エ　平家物語　　オ　栄花物語

問3　『栄花物語』とほぼ同じ頃に成立し、系統も同じで扱った内容もよく似た作品はどれか。次の中から選べ。

ア　大鏡　　イ　増鏡　　ウ　風土記　　エ　宇津保物語　　オ　源氏物語

問4　問題の文章の出典『増鏡』は、文学作品の分類上何に属するか。該当するものを次の中から選べ。

ア　歌論　　イ　随筆　　ウ　説話　　エ　歌物語　　オ　軍記物語　　カ　歴史物語

問5　『大鏡』と同じく紀伝体で書かれた歴史物語を、次の中から選べ。

ア　今鏡　　イ　増鏡　　ウ　栄花物語　　エ　神皇正統記

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問6　歴史物語『大鏡』ともっとも関係の深い人物を、次の中から一つ選べ。

ア　稗田阿礼　　イ　清少納言　　ウ　藤原道長　　エ　鴨長明　　オ　藤原定家

問7　次の文は『大鏡』の説明である。空欄 ① ～ ④ に入る最も適当な語をそれぞれ選べ。

大鏡は ① 時代に ② 体で書かれた ③ 物語であり、 ③ 物語には他に ④ 物語がある。

① ア　平安　　イ　鎌倉　　ウ　南北朝　　エ　室町

② ア　擬古文　　イ　編年　　ウ　紀伝　　エ　紀事本末

③ ア　伝奇　　イ　作り　　ウ　歌　　エ　歴史

④ ア　栄華　　イ　源氏　　ウ　伊勢　　エ　堤中納言

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【勅撰和歌集】

三代集（『古今和歌集』〜『拾遺和歌集』）

八代集（『古今和歌集』〜『新古今和歌集』）

『**古今和歌集**』…九〇五年成立。撰者＝**紀貫之**・**紀友則**（きのとものり）・**凡河内躬恒**（おおしこうちのみつね）・**壬生忠岑**（みぶのただみね）。
勅命＝**醍醐天皇**（**延喜の聖主**）。「**仮名序**」＝**紀貫之**。「真名序」＝紀淑望（きのよしもち）。
＊六歌仙＝**大伴黒主**（おおとものくろぬし）・**在原業平**（ありわらのなりひら）・**文屋康秀**（ふんやのやすひで）・**僧正遍昭**（そうじょうへんじょう）・**小野小町**（おののこまち）・**喜撰法師**（きせんほうし）

『**後撰和歌集**』…九五一年成立。撰者＝**清原元輔**ら「**＊梨壺の五人**」。勅命＝村上天皇。
＊梨壺の五人＝**清原元輔**・**源　順**（みなもとのしたごう）・**大中臣能宣**（おおなかとみのよしのぶ）・**紀時文**（きのときぶみ）・**坂上望城**（さかのうえのもちき）

『**拾遺**（しゅうい）**和歌集**』…一〇〇六年頃成立。撰者＝藤原公任（きんとう）？／花山院？　勅命＝花山院。

『**後拾遺和歌集**』…一〇八六年成立。撰者＝藤原通俊（みちとし）。勅命＝白河天皇。

『**金葉**（きんよう）**和歌集**』…一一二七年成立。撰者＝源俊頼（としより）。勅命＝白河院。

『**詞花**（しか）**和歌集**』…一一五一頃成立。撰者＝藤原顕輔（あきすけ）。勅命＝崇徳院（すとくいん）。

『**千載**（せんざい）**和歌集**』…一一八八年成立。撰者＝**藤原俊成**（しゅんぜい）。勅命＝後白河院。**幽玄体**。代表歌人＝俊成・**西行**。

『**新古今和歌集**』…一二〇五年成立（**鎌倉時代**）。撰者＝**藤原定家**（＝俊成の子。京極中納言）・源通具（みちとも）・藤原有家・藤原家隆ら。勅命＝**後鳥羽院**。代表歌人＝**西行**・俊成・式子内親王。
技法＝余情・有心・妖艶を追求。**本歌取り**・**体言止め**が多い。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【歌謡集・歌論書・私家集（＝個人の歌を集めたもの。別名「家集（いえのしゅう）」など）】

『和漢朗詠集（わかんろうえいしゅう）』…歌謡集。**平安中期**成立。編者＝**藤原公任**（「**三船の才（さんせんのさい）**（＝漢詩・和歌・管弦の才能）」の持ち主）。
「和歌」＝**紀貫之**、「漢詩」＝**白居易（はくきょい）**（**白楽天（はくらくてん）**）が多い。

『新撰髄脳（しんせんずいのう）』…歌論書。作者＝**藤原公任**。少し前の『和歌九品（くほん）』（歌論書）も公任の作品。

『俊頼髄脳（としよりずいのう）』…歌論書。作者＝源俊頼。藤原俊成・新古今に影響を与えた。『俊頼口伝』ともいう。

『近代秀歌』…歌論書。作者＝**藤原定家**。歌道の盛衰を述べ、近代歌人六人の秀歌を列挙。

『梁塵秘抄（りょうじんひしょう）』…歌謡集。編者＝**後白河法皇**。「**今様**（７５７５７５７５）」を集めたもの。

『長秋詠藻（ちょうしゅうえいそう）』…**藤原俊成**の家集。幽玄体。

『山家集（さんかしゅう）』…平安時代。**西行の家集**。仏教観・各地を行脚し自然を愛した。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈**演習問題❹**〉

問1　『古今和歌集』の撰者として適切な人物を、次の中から選べ。

ア　藤原定家　　イ　大伴家持　　ウ　後鳥羽院　　エ　紀貫之　　オ　西行法師

問2　小野小町と最も近い時期に活躍した歌人を、次の中から選べ。

ア　伊勢　　イ　紀貫之　　ウ　和泉式部　　エ　在原業平

問3　『拾遺和歌集』より古い時代に成立した歌集を一つ選べ。

ア　新古今和歌集　　イ　千載和歌集　　ウ　金槐和歌集　　エ　玉葉和歌集　　オ　後撰和歌集

問4　鳥羽天皇の在位は西暦一一〇七年から一一二三年である。これに最も近い時に成立したとされる勅撰和歌集を、次の中から選べ。

ア　金葉和歌集　　イ　古今和歌集　　ウ　山家集　　エ　玉葉和歌集
オ　後撰和歌集　　カ　拾遺和歌集　　キ　新古今和歌集

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問5　後白河院が撰集（せんじゅう）を命じた『千載和歌集』と同じく、勅撰和歌集に分類される歌集を一つ選べ。

ア　金槐和歌集　　イ　文華秀麗集　　ウ　詞花和歌集　　エ　新撰犬筑波集

問6　次の中から勅撰和歌集ではないものを一つ、選べ。

ア　万葉集　　イ　古今和歌集　　ウ　新古今和歌集　　エ　金葉和歌集

問7　「六歌仙」に数えられない人物を次の中から二人選べ。

ア　在原業平　　イ　凡河内躬恒　　ウ　大伴黒主　　エ　喜撰法師
オ　僧正遍照　　カ　文屋康秀　　キ　和泉式部　　ク　小野小町

問8　『古今和歌集』の編纂にかかわった人物を、次の中から選べ。

ア　小野小町　　イ　在原業平　　ウ　柿本人麻呂　　エ　清原深養父　　オ　凡河内躬恒

問9　「延喜の聖主」とは古今集の編さんを命令した天皇のことである。その天皇は次のうち誰か。

ア　後醍醐天皇　　イ　天智天皇　　ウ　聖武天皇　　エ　後白河天皇　　オ　醍醐天皇

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問10　『古今和歌集』のＡ「真名序」の作者とＢ「仮名序」の作者は誰か。次の中から適切なものをそれぞれ選べ。

ア　紀貫之　　イ　紀友則　　ウ　紀淑望　　エ　凡河内躬恒　　オ　在原業平

Ａ＝　　　　Ｂ＝

問11　「源俊頼」が撰者となった勅撰和歌集を、次の中から選べ。

ア　金葉和歌集　　イ　新古今和歌集　　ウ　風雅和歌集　　エ　文華秀麗集　　オ　山家集

問12　飛鳥井雅経（まさつね）は『新古今和歌集』の撰者の一人である。雅経以外の撰者を次の（ａ）の中から一人選べ。また、撰集の命を下した人物を次の（ｂ）の中から一人選べ。

（ａ）ア　源実朝　　イ　和泉式部　　ウ　藤原公任　　エ　藤原定家　　オ　西行

（ｂ）ア　醍醐天皇　　イ　白河上皇　　ウ　鳥羽天皇　　エ　後白河上皇　　オ　後鳥羽上皇

問13　『新古今』の撰者を次の中から一つ選べ。

ア　在原業平　　イ　大伴家持　　ウ　藤原家隆　　エ　紀貫之　　オ　西行

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問14『新古今和歌集』にもっとも多くの和歌が採られた人物は誰か。次の中から選べ。

ア　後醍醐天皇　イ　西行　ウ　正徹　エ　本居宣長　オ　源実朝

問15『百人一首』の編者藤原定家が編集に関わった『新古今和歌集』は、何番目の勅撰和歌集か。数字で答えよ。

問16 新古今和歌集時代の歌人でないのは次のどれか。一つ選べ。

ア　藤原定家　イ　後鳥羽院　ウ　西行　エ　鴨長明　オ　紀貫之

問17『大和物語』と内容的に重なるところの多い勅撰和歌集を、次の中から一つ選べ。

ア　万葉集　イ　後撰和歌集　ウ　新古今和歌集
エ　拾遺愚草　オ　和漢朗詠集

問18『和漢朗詠集』の撰者を次の中から選べ。

ア　藤原道長　イ　源実朝　ウ　藤原定家　エ　藤原公任

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問19　藤原定家の歌論を次の中から選べ。

ア　無名抄　　イ　歌経標式　　ウ　近代秀歌
エ　古来風体抄　　オ　文鏡秘府論

問20　西行法師と最も関係の深い作品を選べ。

ア　東海道中膝栗毛　　イ　花伝書　　ウ　山家集
エ　土佐日記　　オ　方丈記　　カ　枕草子

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第六講　復習問題

① 次に挙げる王朝物語の中で、最も成立が遅い作品はどれか。

ア　伊勢物語　　イ　うつほ物語　　ウ　源氏物語　　エ　落窪物語　　オ　大和物語

② 「一条院の天皇の御時」の時代に最も関わりの深い作品は、次の中のどれか。

ア　万葉集　　イ　古今和歌集　　ウ　源氏物語　　エ　今昔物語集　　オ　方丈記

③ 平安時代に成立していない書物を、次の中から選べ。

ア　浜松中納言物語　　イ　うつほ物語　　ウ　正徹物語　　エ　狭衣物語　　オ　夜の寝覚

④ 「業平」とほぼ同時期に活躍した歌人名として、最も適当なものを次の中から一つ選べ。

ア　藤原定家　　イ　清少納言　　ウ　山上憶良　　エ　源実朝　　オ　小野小町

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第七講　文学史❷

1　中古（平安時代）②

【日記】　十〜十一世紀

『土佐日記』…九三五年成立。作者＝**紀貫之**。**最初の仮名日記**。**女性に仮託**。

〈内容〉　土佐の国司の任務を終え、**土佐から京へ戻る**までの船旅日記。
土佐で亡くした女児への追慕と**帰京への切実な願い**が書かれている。

＊**女児**＝「**女子・恋ふる人・昔へ人**（むかしびと）**・亡き児・小松**（比喩）**・白玉**（比喩）」などと表現。

〈冒頭文〉「**男もすなる日記**（にき）**といふものを女もしてみむとてするなり**」

『蜻蛉日記』（かげろう）…九八〇年頃成立。作者＝**藤原道綱母**（ふじわらのみちつなのはは）。**最初の女流日記**。

〈内容〉　**夫藤原兼家**（かねいえ）との**結婚生活**（**物忌みを口実にして通ってこずに浮気をする夫へ**）の**不満**を吐露。
一夫多妻時代の女性の苦悩。出家まで考える。**一人息子道綱**に対する愛情。

＊**道綱**＝「**幼き人・ただ一人ある人**」などと表現。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

『和泉式部日記』…一〇〇七年頃成立。作者＝**和泉式部**（有名な**歌人**・娘に**小式部内侍**がいる）。
歌物語的日記。

〈内容〉　恋人の**為尊親王**（**故宮**）と死別。悲しみにうちひしがれている作者を為尊親王の**弟**の**敦道親王**（**帥宮**）が慰め、恋愛へと発展していく過程が記されている。贈答歌が多い。
作者は自分のことを作品中では「**女**」と三人称を用いている。

主語把握ポイント！

> **地の文**
> **尊敬語有＝敦道親王**（帥宮・宮）
> **尊敬語無＝女**（作者・和泉式部）
> } が多い。
> **謙譲語有＝女→敦道親王**

『紫式部日記』…一〇一〇年頃成立。作者＝**紫式部**（一条天皇の**中宮彰子**に仕えた女房）。

〈内容〉　「前半」＝**彰子の出産や行事など宮廷生活**の詳細な記録。
「後半」＝消息文（手紙文）。**同僚の女房や清少納言の人物批評**（悪口など）。
憂愁に満ちた自己の内面を吐露。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

『更級日記』…一〇六〇年頃成立。作者＝**菅原孝標女**。**藤原道綱母**は母方の**伯母**にあたる。

〈内容〉国司の娘として**東国の果て**で育つが、一三歳のとき**上総から上京**。その際の紀行文、少女時代、都での生活、夫との死別、仏教の信仰など、自分の人生の**回想日記**。作者は**少女時代**、**物語に夢中**になり、特に**『源氏物語』**の**「夕顔」**や**「浮舟」**に憧れており、仏前のおつとめを怠っていた。後年、現実は物語とは違うことに目覚め、晩年は仏教を頼る。

〈冒頭文〉**「あづま路のみちのはてよりも、なほ奥つかたに生ひ出でたる人、いかばかりかあやしかりけむを、いかに思ひはじめけることにか、世の中に物語といふもののあんなるを、いかで見ばやと思ひつつ…」**

『讃岐典侍日記』…一一〇九年頃成立。作者＝藤原長子。**堀河帝**の没後、その子**鳥羽帝**に仕えた。

〈内容〉「上巻」＝**堀河帝の発病から崩御まで**の容態を克明に記述。熱心に看病をするがその甲斐なく帝は崩御し、作者は悲嘆の涙の中で亡き帝を追憶する。

「下巻」＝**白河院**（堀河帝の父・鳥羽帝の祖父）から**鳥羽幼帝への再出仕命令**が下る。断りきれない作者はしぶしぶ参内し、宮中生活の中で**何かにつけて堀河帝を偲ぶ**が、徐々に鳥羽帝をいとしく感じていくようになる。

時制注意！

堀河帝が元気な場面は、死後の回想シーン。過去「き」「けむ」に注意！

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

『十六夜日記』（いざよいにっき）**…鎌倉時代**（一二八〇年頃）成立。作者＝**阿仏尼**（あぶつに）（＝**『うたたね』**の作者）。

〈内容〉　夫の死後、わが子と先妻の子との間におこった**領地相続争いの訴訟**のため、**京から鎌倉に下った紀行文**。子を思う母親の愛情が溢れている。

日記成立順＝**土佐→蜻蛉→和泉式部→紫式部→更級→讃岐典侍→十六夜**（鎌倉時代）

同年代の女房＝**紫式部・清少納言・和泉式部・赤染衛門**（あかぞめえもん）

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔演習問題❶〕

問1　『更級日記』の作者の名前を次の中から選べ。

ア　額田王　　イ　菅原孝標女　　ウ　藤原道綱母　　エ　和泉式部

問2　阿仏尼には、夫藤原為家の死後、子為相（ためすけ）の領地相続訴訟のために、鎌倉へ下向したときの紀行的日記がある。その作品名を漢字五文字で答えよ。

問3　平安時代の女流日記文学として最も早く成立した作品はどれか。次の中から選べ。

ア　和泉式部日記　　イ　紫式部日記　　ウ　更級日記　　エ　蜻蛉日記

問4　『更級日記』より成立時期の遅い女流日記を、次の中から選べ。

ア　蜻蛉日記　　イ　和泉式部日記　　ウ　紫式部日記　　エ　讃岐典侍日記

問5　次の日記文学のうち、成立が最も早い作品を選べ。

ア　讃岐典侍日記　　イ　蜻蛉日記　　ウ　紫式部日記　　エ　更級日記　　オ　十六夜日記

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問6『たまきはる』は藤原俊成の娘である建春門院中納言の日記である。この作品より後に成立した作品を次の中から選べ。

ア　土佐日記　イ　十六夜日記　ウ　更級日記　エ　讃岐典侍日記　オ　蜻蛉日記

問7 和泉式部と最も近い時期に活躍した人物を、次の中から一つ選べ。

ア　藤原道綱母　イ　小野小町　ウ　建礼門院右京大夫　エ　菅原孝標女　オ　紫式部

問8 活躍した時代が紫式部と同時代ではない人物名を、次の中から選べ。

ア　阿仏尼　イ　清少納言　ウ　和泉式部　エ　赤染衛門

問9『源氏物語』の作者の書いた日記の中に出てこない人物を、次の中から一人選べ。

ア　一条天皇　イ　和泉式部　ウ　清少納言
エ　藤原公任　オ　藤原道長　カ　菅原孝標

問10『蜻蛉日記』の作者名と、その夫の名（氏と名）を漢字で記せ。

作者＝　　　夫＝

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問11　「男もすなる日記といふものを、女もしてみむとてするなり」の書き出しで始まる平安時代の有名な日記のA作者とB作品名を書け。

A＝　　　　　　　B＝

問12　次の文の空白部A・Bに入る事項として最も適当なものを、それぞれ一つずつ選べ。

『更級日記』の作者菅原孝標女は多くの物語類を愛読したが、とりわけ［A］を読みふけった。また、母方に伯母がいて、この伯母は女流日記の先駆となった［B］を書いて、夫との生活や子供への愛情を描いた。

A　ア　竹取物語　　イ　栄花物語　　ウ　伊勢物語　　エ　源氏物語

B　ア　蜻蛉日記　　イ　和泉式部日記　　ウ　紫式部日記　　エ　とはずがたり

問13　菅原孝標女の書いた日記の内容として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　夫への不信に悩む女の生活記録
イ　各地にある不思議な話を集めたもの
ウ　任地から都までの旅中の見聞記
エ　東海道の旅日記を中心とした母性愛の記録
オ　ある女性の人生の回想記

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問14　「生まれしも帰らぬものをわが宿に小松のあるを見るが悲しさ」（『土佐日記』より）の和歌の解釈として正しいものを次の中から選べ。

ア　任地の土佐の国で生まれた自分の幼い女児はそこにとどまり、京の我が家にいっしょに帰ってはこないので、庭のかわいい小松を見るにつけ悲しい思いがする。

イ　京の我が家の庭のかわいい小松を見るにつけ、ここで生まれて土佐の任地で死んだ自分の幼い女児が、自分といっしょに京の家に帰ってこないことが悲しまれる。

ウ　この京の我が家で生まれた幼い女児が、土佐の任地から自分が帰ってみると既に亡くなっているのだが、家の庭のかわいい小松を見るにつけ、それが悲しまれる。

問15　次の本文の趣旨に合うものを、後の中から選べ。

六月になりぬ。暑さ所狭きにも、まづ去年のこの頃は、事もなく（堀河帝は）御心地よげに遊ばせ給ひて…（以下は皆で扇引きを楽しんだ話が続いて行く）

『讃岐典侍日記』より

ア　作者は、去年天皇を交えて行った扇引きを、今年も同じようにできた事に満足している。

イ　作者は今年も変わりなく天皇のお気に入りであることを、皆に誇示しようとしている。

ウ　作者は去年と違って病気がちの天皇を慰めるため、何かと催物をしようと苦心している。

エ　作者は去年の今ごろは壮健であった天皇の、思い出を記しながら偲んでいる。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問16　次の文章は『和泉式部日記』の一節である。和歌Ａ～Ｅは、それぞれ誰が詠んだ歌か。後の中からそれぞれ選べ。

Ａ「時雨かも何にぬれたる袂ぞとさだめかねてぞ我もながむる」

とて、「まことや、

Ｂ もみぢ葉は夜半のしぐれにあらじかしきのふ山辺を見たらましかば」

とあるを御覧じて、

Ｃ「そよやそよなどて山辺を見ざりけんけさはくゆれど何のかひなし」

とて、はしに、

Ｄ「あらじとは思ふものからもみぢ葉の散りや残れるいざ行きて見ん」

とのたまはせたれば、

Ｅ「うつろはぬときは山のもみぢせばいざかしゆきてとうとうも見む」

ア　帥の宮　　イ　和泉式部　　ウ　それ以外の人

Ａ＝　　Ｂ＝　　Ｃ＝　　Ｄ＝　　Ｅ＝

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【説話】 **平安時代は「仏教説話」**が中心。

『日本霊異記（にほんりょういき）』…**最古の仏教説話集**。作者＝景戒（きょうかい）。漢文体。
仏教の本質を教えているが、民衆の生活も描かれている。

『三宝絵（さんぼうえ）（詞（ことば））』…仏教説話集。作者＝源為憲（ためのり）。『日本霊異記』と『今昔物語集』をつなぐ役割。

『今昔物語集（こんじゃくものがたりしゅう）』…仏教説話が多いが世俗説話もある。漢文訓読文体。
天竺（てんじく）（インド）・**震旦（しんたん）**（中国）・**本朝（ほんちょう）**（日本）の約千話を収録。
「**今は昔**」で始まり、「**〜となむ語り伝へたるとや**」で終わる。

『古本説話集（こほんせつわしゅう）』…「上巻」＝世俗説話四六話。「下巻」＝仏教説話二四話。和文体。
『今昔物語集』と『宇治拾遺物語』をつなぐ役割。

『打聞集（うちぎきしゅう）』…仏教説話集。インド・中国・日本の霊験譚を中心に収録。『今昔』と二一話重複。

『宝物集（ほうぶつしゅう）』…仏教説話集。仏法こそが第一の宝物だということを記述。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　中世（鎌倉・南北朝・室町・安土桃山時代）①

【説話】　中世＝説話の時代！　「**仏教説話**」と「**世俗説話**」

『発心集』…仏教説話。一二一五年頃成立。作者＝**鴨長明**。

『宇治拾遺物語』…世俗説話。**鎌倉時代説話文学の代表作**。『今昔物語集』と八四話重複。
「笑い」中心。「鬼に瘤取らるる事」「雀報恩の事」などの民話を含む。

『閑居友』…仏教説話。

『十訓抄』…世俗説話。作者＝六波羅二﨟左衛門入道か？　**若者のための教訓書**。

『古今著聞集』…世俗説話。作者＝**橘成季**。古今の有名な説話を集め、年代順に配列されている。

『沙石集』…仏教説話。作者＝**無住**。

『雑談集』…仏教説話。作者＝無住。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈演習問題❷〉

問1　次の中から説話集でないものを一つ選べ。

ア　宇治拾遺物語　　イ　古今著聞集　　ウ　愚管抄　　エ　十訓抄　　オ　発心集

問2『宇治拾遺物語』は鎌倉初期頃成立の説話集であるが、次の中から説話集ではないものを選べ。

ア　今昔物語集　　イ　宝物集　　ウ　無名抄　　エ　撰集抄　　オ　古今著聞集

問3『宇治拾遺物語』と分野が異なる作品を次の中から選べ。

ア　宇津保物語　　イ　沙石集　　ウ　十訓抄　　エ　古今著聞集

問4『今昔物語集』と異なるジャンルに属する作品を選べ。

ア　宇治拾遺物語　　イ　玉勝間　　ウ　沙石集　　エ　十訓抄　　オ　古今著聞集

問5『今昔物語集』より古い時代に成立した説話集を、次の中から一つ選べ。

ア　宇治拾遺物語　　イ　古今著聞集　　ウ　沙石集　　エ　発心集　　オ　日本霊異記

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問6　『続古事談』は鎌倉時代初期に成立したと考えられている説話集である。これとほぼ同じ時期に成立した、同じジャンルの作品を選べ。

ア　宇治拾遺物語　イ　今昔物語集　ウ　増鏡　エ　無名草子　オ　方丈記

問7　次に挙げる説話集の中で、最も成立の早い作品はどれか。

ア　宇治拾遺物語　イ　今昔物語集　ウ　十訓抄　エ　日本霊異記　オ　発心集

問8　『古今著聞集』は説話集ですが、これと同じ時代に成立した説話集を一つ選びなさい。

ア　日本霊異記　イ　十訓抄　ウ　無名抄　エ　ささめごと

問9　出家・往生説話を中心に集めた仏教説話集を、次の中から選べ。

ア　梁塵秘抄　イ　発心集　ウ　宇治拾遺物語　エ　無名抄　オ　古今著聞集

問10　『発心集』の編者は『方丈記』の筆者でもある。この人の名前を次の中から選べ。

ア　兼好法師　イ　無住　ウ　鴨長明　エ　井原西鶴　オ　後鳥羽天皇

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問11　次の文学史に関する文章の空所に、後の選択肢から、適切なものを選べ。

『宇治拾遺物語』は（　１　）に成立した（　２　）である。このジャンルのものとしては（　３　）に成立した（　４　）が最も古い。奈良の僧、景戒が編纂した仏教に関する内容の物語である。このジャンルで最も有名なのは、（　５　）に成立した（　６　）で、天竺・震旦・本朝というこの当時、全世界と認識されていた三国の話に分かれる。この三ヵ国の中で日本を指すのは、（　７　）という言葉である。

ア　奈良時代　イ　平安前期　ウ　平安中期　エ　平安後期　オ　鎌倉時代
カ　室町時代　キ　江戸時代　ク　歌物語　ケ　作り物語　コ　歴史物語
サ　擬古物語　シ　説話集　ス　随筆　セ　『十訓抄』　ソ　『今昔物語集』
タ　『日本霊異記』　チ　『徒然草』　ツ　天竺　テ　震旦　ト　本朝

1＝　2＝　3＝　4＝
5＝　6＝　7＝

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【歌論書・私家集・歌謡集・連歌・芸能など】

『古来風体抄（こらいふうていしょう）』…歌論書。作者＝**藤原俊成**。

『無名抄（むみょうしょう）』…**歌論書**。作者＝**鴨長明**。

作歌の心得・故実・逸話が書かれている。近代歌体では、問答形式で『万葉集』以後の歌風の変遷を叙し、幽玄体の意義を説き、俊成の考えに近い。が、師の俊恵の発言を借りて、俊成を批判している。

『金槐和歌集（きんかいわかしゅう）』…**源実朝（さねとも）**（師は定家。）の**私家集**。「万葉調」の歌に特色。

『菟玖波集（つくばしゅう）』…**最初の準勅撰連歌集**。撰者＝**二条良基（にじょうよしもと）**・救済（ぐさい）。連歌の地位を確立。

『風姿花伝（ふうしかでん）』…**能楽論**。**室町時代成立**。作者＝**世阿弥（ぜあみ）**。

「**花**」は「**芸における美しさ・感動すること**」の意。幽玄を説く。『花伝書』ともいう。

『新撰菟玖波集』…連歌集。作者＝**宗祇**。

『閑吟集』…歌謡集。恋愛の歌が多い。小歌集。

『新撰犬筑波集』…**俳諧連歌集**。作者＝**山崎宗鑑**。機知と滑稽さを重視。

「**犬**」は「**正当でない**」の意。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔演習問題❸〕

問１ 室町時代に活躍した人物は誰か。次の中から一つ選べ。

ア　藤原定家　　イ　紀貫之　　ウ　世阿弥　　エ　菅原孝標女　　オ　本居宣長

問２ 個人の和歌を集めた私家集を次の中から一つ選べ。

ア　沙石集　　イ　閑吟集　　ウ　菟玖波集　　エ　金槐和歌集　　オ　詞花和歌集

問３ 謡曲『通小町』は、観阿弥・世阿弥父子が作者として成立に関与したと言われている。このふたりに関係の深い作品を、次の中から一つ選べ。

ア　無名草子　　イ　無名抄　　ウ　風姿花伝　　エ　ささめごと

問４ 次の作品の中で、連歌集はどれですか。一つ選びなさい。

ア　猿蓑　　イ　閑吟集　　ウ　菟玖波集　　エ　ささめごと

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問５　『古来風体抄』の筆者とはどのような人物か。合致するものを次の中から一つ選べ。

ア　『金葉和歌集』の撰者である藤原顕輔の子で、『詞花和歌集』の撰者である。
イ　『千載和歌集』の撰者である藤原俊成の師で、『金葉和歌集』の撰者である。
ウ　『新古今和歌集』の撰者の一人である藤原定家の父で、『千載和歌集』の撰者である。
エ　『金槐和歌集』の撰者である源実朝とは兄弟で、『新古今和歌集』の撰者の一人である。

【その他の論書】

『無名草子（むみょうぞうし）』…物語評論。作者＝藤原俊成女（むすめ）か？　会話形式。『源氏物語』の評論が有名。

『愚管抄（ぐかんしょう）』…最初の史論書。作者＝**慈円（じえん）**。

『神皇正統記（じんのうしょうとうき）』…史論書。作者＝**北畠親房（きたばたけちかふさ）**。南朝の正統性を力説。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第七講　復習問題

①『和泉式部日記』とほぼ同じ頃に書かれたとされている作品を、次の中から選べ。

ア　土佐日記　　イ　紫式部日記　　ウ　讃岐典侍日記　　エ　十六夜日記

②次の中から『蜻蛉日記』の筆者を選べ。

ア　菅原孝標女　　イ　和泉式部　　ウ　儀同三司母　　エ　赤染衛門　　オ　藤原道綱母

③『枕草子』に関する説明として誤りを含んでいるものを次の中から一つ選べ。

ア　冒頭の章段において作者は、夏は夜、冬は早朝がよいと述べている
イ　平安時代中期に成立した作品で、作者は清少納言と呼ばれる女性である
ウ　『紫式部日記』『十六夜日記』『和泉式部日記』とほぼ同時代の作品である
エ　内容は大きく類聚的章段、随想的章段、日記的章段の三種類に分けられる
オ　『源氏物語』が「あはれ」の文学とされるのに対して、「をかし」の文学とされている

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④『源氏物語』の作者と同じ時期に活躍したのではない人物を、次の中から一つ選べ。

ア　清少納言　イ　式子内親王　ウ　和泉式部　エ　一条天皇　オ　藤原道長

⑤『土佐日記』より「都へと思ふ心のわびしきは帰らぬ人のあればなりけり」の傍線部は誰のことか。次の中から選べ。

ア　貫之　イ　都人　ウ　妻　エ　女児　オ　家人

⑥和泉式部に関する次の文章の空欄にあてはまる言葉を後の中から選べ。

和泉式部は、平安時代（　１　）の女流文学者で、為尊親王や敦道親王の兄弟との恋愛を描いた（　２　）日記や、和泉式部集の歌集を残した。藤原道長の娘である中宮（　３　）に仕え、藤原保昌と再婚し、情熱的な恋愛歌人として生涯を過ごした。また、この和泉式部と交流があり、藤原道長の妻倫子に仕えた女房に（　４　）がおり、彼女は、藤原道長の繁栄を描いた（　５　）の作者（あるいは編者）と言われている。

ア　前期　イ　中期　ウ　後期　エ　末期　オ　更級
カ　かげろふ　キ　十六夜　ク　大鏡　ケ　栄花物語　コ　増鏡
サ　讃岐典侍　シ　赤染衛門　ス　和泉式部　セ　阿仏尼　ソ　清少納言
タ　紫式部　チ　小式部内侍　ツ　定子　テ　徳子　ト　彰子

１＝　２＝　３＝　４＝　５＝

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑦『撰集抄』は説話集に分類される作品である。次の中から同じく説話集に分類されるものを一つ選べ。

ア　宇治拾遺物語　イ　落窪物語　ウ　竹取物語　エ　保元物語　オ　栄華物語

⑧『宇治拾遺物語』と同じジャンルに属する作品を次の中から選べ。

ア　平家物語　イ　源氏物語　ウ　雨月物語　エ　今昔物語集　オ　竹取物語

⑨『十訓抄』の成立した時代として正しいものを次の中から選べ。

ア　奈良時代　イ　平安時代　ウ　鎌倉時代　エ　室町時代　オ　江戸時代

⑩『沙石集』と同じ仏教説話集として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　宇治拾遺物語　イ　発心集　ウ　とはずがたり　エ　徒然草　オ　古今著聞集

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑪「家の集」に分類される和歌集を、次の中から一つ選べ。

ア　金槐和歌集　　イ　抒情小曲集　　ウ　風雅和歌集　　エ　文化秀麗集　　オ　和漢朗詠集

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第八講　文学史❸

1　中世（鎌倉・南北朝・室町・安土桃山時代）②

【軍記物語】

『将門記（しょうもんき）』…**平安時代後期成立**。漢文体。**「平将門の乱」**を描く。

『陸奥話記（むつわき）』…**平安時代末期成立**。漢文体。**「前九年の役」**を描く。

『保元物語』…**鎌倉時代初期**成立。和漢混交文体。「保元の乱」**源為朝（みなもとのためとも）**中心。

『平治物語』…**鎌倉時代初期**成立。和漢混交文体。「平治の乱」**悪源太義平（あくげんたよしひら）**中心。

『平家物語』…**鎌倉時代前期**成立。和漢混交文体。
平家一門の繁栄と滅亡を描いたもの。**仏教的無常観**。

〈冒頭文〉**「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰のことわりをあらはす。おごれる人も久しからず、ただ春の夜の夢のごとし。たけき者も遂にはほろびぬ、ひとへに風の前の塵に同じ。…」**

＊**「平曲」**＝**盲目の琵琶法師**が琵琶に合わせて『平家物語』を語った音曲。

＊**『源平盛衰記（げんぺいじょうすいき（せい））』**　作者＝信濃前司行長（しなののぜんじゆきなが）か？（→『平家物語』の異本と言われている。）

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

『太平記』…南北朝時代成立。作者＝小島法師。和漢混交文体。**「南北朝の争乱」**を描く。
太平記読み（近世に民間で講釈されたときの語り手）・**道行文**（旅の情景を記す文章。七五調。掛詞・縁語を多く用いる）が有名。

『曾我物語』…南北朝初期成立。曾我兄弟が父の敵を十八年かかって討つ話。

『義経記』…室町時代初期成立。源義経の一代記。兄頼朝との不仲で敗北するまでを描く。
「判官びいき」（悲劇の英雄に対する同情）の言葉が生まれる。

〈演習問題❶〉

問１　次の中からジャンルの違う作品を選べ。

ア　源平盛衰記　　イ　太平記　　ウ　保元物語　　エ　平中物語　　オ　曽我物語

問２　『平家物語』と同じく、軍記物語に分類される作品を次の中から選べ。

ア　源氏物語　　イ　方丈記　　ウ　雨月物語　　エ　宇治拾遺物語　　オ　義経記

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問3　『平治物語』と同じジャンルの古典作品を、次の中から選べ。

ア　太平記　　イ　明月記　　ウ　方丈記　　エ　神皇正統記　　オ　古事記

問4　『源平盛衰記』と同じジャンルに属する作品を一つ選べ。

ア　土佐日記　　イ　日本霊異記　　ウ　太平記　　エ　神皇正統記

問5　源義経と最も関係の深い著述を、次の中から選べ。

ア　大鏡　　イ　平家物語　　ウ　今昔物語集　　エ　日本書紀　　オ　太平記

問6　『吉野拾遺』は、後村上天皇時代を中心とする南朝関係の逸話を集めている。鎌倉幕府の滅亡から後醍醐天皇による新政権を経て、室町幕府設立・南北朝対立にいたる内乱を描いた軍記物語を漢字で記せ。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【日記・紀行】（京・鎌倉間の紀行文が多い）

『**海道記**（かいどうき）』…**一二二三年成立**。京・鎌倉間の紀行文。和漢混交文体。

『**建礼門院右京大夫集**（けんれいもんいんうきょうのだいぶしゅう）』…**一二三三年頃成立**。作者＝**建礼門院右京大夫**（＝**建礼門院徳子**に仕えた。）
平資盛（すけもり）との恋愛・別れの歌日記。

『**東関紀行**（とうかんきこう）』…京・鎌倉間の紀行文。鎌倉滞在中も記載あり。和漢混交文体。

『**十六夜日記**（いざよいにっき）』…作者＝**阿仏尼**。訴訟のために鎌倉に下った紀行文　→※中古の【日記】（83ページ）参照

『**とはずがたり**』…**一三一三年頃成立**。作者＝**後深草院二条**。
「前半」＝後深草院に寵愛された様子などの宮中の日記。
「後半」＝西行に憧れ出家をし、諸国を旅する紀行日記。

【随筆】

『**方丈記**』…**鎌倉時代初期**（**一二一二年**）成立。作者＝**鴨長明**。**仏教的無常観**。和漢混交文体。〈**暗**〉

『**徒然草**』…**鎌倉時代末期**（**一三三〇年**）成立。作者＝**吉田兼好**。**論理的**。儒教・老荘思想の影響有。〈**明**〉

※ともに中世の「**隠者文学**」の代表作。永久不変のものはないという**無常観**。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「三大随筆」
『枕草子』…平安時代。清少納言。
〈冒頭文〉「**春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは…**」
『方丈記』…鎌倉時代初期。鴨長明（賀茂神社の神官の子。**『無名抄』『発心集』**の作者）。
〈冒頭文〉「**ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にはあらず。…**」
『徒然草』…鎌倉時代末期。吉田兼好（吉田神社の神官の子）。
〈冒頭文〉「**つれづれなるままに、日暮らし、硯に向かひて…**」

〈演習問題❷〉

問１　阿仏尼の作品を一つ選べ。

ア　更級日記　　イ　十六夜日記　　ウ　雨月物語　　エ　海道記

問２　『発心集』と同じ作者の作品を、次の中から一つ選べ。

ア　古事記　　イ　玉勝間　　ウ　徒然草　　エ　方丈記　　オ　枕草子

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問3　『海道紀』は貞応二年（一二二三）四月に京都から鎌倉に向かった旅を綴った紀行文である。この作品と最も近い時期に成立したものを、次から二つ選べ。

ア　日本永代蔵　　イ　新古今和歌集　　ウ　奥の細道　　エ　源氏物語
オ　方丈記　　カ　土佐日記　　キ　伊勢物語　　ク　風姿花伝

問4　『発心集』の編者とされる人物とほぼ同時期に活躍した人物を二人、次の中から選べ。

ア　兼好　　イ　藤原定家　　ウ　紀貫之
エ　平康頼　　オ　菅原孝標女　　カ　後深草院二条

問5　鴨長明はいつの時代の人か。また、代表作は何か。次の中から選べ。

「時代」ア　室町後期　　イ　鎌倉後期　　ウ　南北朝　　エ　室町前期　　オ　鎌倉前期
「作品」ア　明月記　　イ　撰集抄　　ウ　歎異抄　　エ　発心集　　オ　往生要集

問6　高倉天皇の中宮に仕え、平家の公達の一人と恋愛し、後には後鳥羽天皇にも仕えた女房歌人は誰か。次の中から選べ。

ア　阿仏尼　　イ　和泉式部　　ウ　右京大夫　　エ　讃岐典侍　　オ　六条御息所

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問7 『○○○○右京大夫集』の○に、この作品の作者が仕えた平家ゆかりの人の呼び名を漢字四字で書け。

問8 「鴨長明とか吉田兼好とかいう世捨人」について。

Ａ　彼らの作品と、同時代に成立した作品を次の中から選べ。

ア　枕草子　　イ　十六夜日記　　ウ　更級日記　　エ　雨月物語　　オ　玉勝間

Ｂ　「世捨人」と同じような意味を持つ言葉を、次の中から選べ。

ア　文人　　イ　隠者　　ウ　漂泊者　　エ　墨客　　オ　浪人

問9 『徒然草』とほぼ同じ時代に成立した作品を、次の中から一つ選べ。

ア　方丈記　　イ　宇治拾遺物語　　ウ　枕草子　　エ　神皇正統記

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2　近世（江戸時代）

〈前期〉上方文学…関西で栄える。
「元禄三人男」＝**松尾芭蕉**（**俳諧**）・**井原西鶴**（**浮世草子**）・**近松門左衛門**（**浄瑠璃**）
〈後期〉江戸文学…**読本**・**国学**など多様化する。

【浮世草子】

井原西鶴…大阪の町人。談林派・西山宗因の弟子。矢数俳諧（限られた時間内でできる限りの数の句を作る）で活躍。
後に**浮世草子**（上方を中心とした小説）作家。

『好色一代男』…**浮世草子第一作**。主人公・世之介の一生の好色生活を描く。
『好色五人女』…**「お夏清十郎」**など五つの恋愛事件を描く。
『日本永代蔵』…**町人物の最初の作品**。町人が才覚と倹約により**分限者**（**お金持ち**）になる話。
『世間胸算用』…**作者の最高傑作・町人物の代表作品**。**大晦日を舞台として町人の様子**を描く。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【俳諧】

松尾芭蕉…京で**貞門派**（ていもん）（**松永貞徳**（まつながていとく）の一派）を学び、**江戸**に下った後、**談林派**を学ぶ。
その後、深川の芭蕉庵に住み、俳諧師として確立。**蕉風**＝**閑寂の境地**（**わび・さび・軽み**）を目指す。
『野ざらし紀行』『冬の日』『笈の小文』（おいのこぶみ）**『更科紀行』**（さらしな）**『猿蓑』**（さるみの）など。

『奥の細道』…**俳諧紀行文学の最高傑作**。弟子の曾良を伴って江戸→奥州→北陸→大垣を巡る旅行記。

〈名句〉**閑かさや岩にしみ入る蝉の声**　／　**五月雨をあつめて早し最上川**
夏草や兵どもが夢の跡　など

●**蕉門**＝芭蕉の門下。
向井去来（むかいきょらい）＝『去来抄』／**服部土芳**（はっとりとほう）＝『三冊子』（さんぞうし）
※二作品ともに、芭蕉が求めた「＊**不易流行**」の説が記述されている。
＊**不易**＝**不変**。　／　**流行**＝**はやり**。

与謝蕪村（よさぶそん）…江戸で**俳諧・文人画**を学ぶ。**『春風馬堤局』**（しゅんぷうばていきょく）**『新花摘』**（しんはなつみ）の作者。

〈名句〉**春の海終日**（ひねもす）**のたりのたり哉**（かな）

小林一茶（こばやしいっさ）…江戸で俳諧を学ぶ。**『おらが春』**で自分の体験を表現。

〈名句〉雪とけて村一ぱいの子ども哉（かな）

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【近世小説】

- **御伽草子**（おとぎぞうし）（室町時代）→**仮名**（かな）**草子**（江戸中期）→**読本**（よみほん）（江戸後期）→**洒落本**（しゃれぼん）
  - →**滑稽本**
  - →**人情本**（恋愛小説）
- ←**草双紙**（くさぞうし）（江戸中期）→**赤本**（子供向け）→**黒本・青本**（大人向け）→**黄表紙**→**合巻**（ごうかん）

【仮名草子】
『伊曾保（いそほ）**物語』**…『イソップ物語』の文語訳本。

【読本】
上田秋成（うえだあきなり）…大阪出身。浮世草子作家・読本作家・国学者・歌人・医学者。**『雨月物語』『春雨物語』**など。
『雨月（うげつ）**物語』**…一七六八年成立。前期読本の代表作品。中国や日本の怪異物語集。

滝沢馬琴（たきざわばきん）…**山東京伝**（さんとうきょうでん）の弟子、後期読本代表作家。**『南総里見八犬伝**（なんそうさとみはっけんでん）**』『椿説弓張月**（ちんせつゆみはりづき）**』**など。

【洒落本】…遊里を舞台に風俗を描いた小説。寛政の禁令により取り締まりを受け衰える。**山東京伝**が有名。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【滑稽本】…笑いの要素。

『東海道中膝栗毛』…作者＝**十返舎一九**。**弥次郎兵衛・喜多八**の珍道中。

『浮世風呂』『浮世床』…作者＝**式亭三馬**。庶民の生活を笑いを交えて描く。

【人情本】…恋愛小説。『春色梅児誉美』（作者＝**為永春水**）が有名。

【黄表紙】…草双紙の一種。絵入り通俗小説。**黄表紙の祖**＝**『金々先生栄花夢』**（作者＝恋川春町）。

【合巻】…黄表紙を数冊合冊にした体裁のもの。**『偐紫田舎源氏』**（作者＝柳亭種彦）。

【浄瑠璃】…特に三味線と人形を使った芝居を**「人形浄瑠璃」**という。

近松門左衛門…**竹本義太夫**のために**『出世景清』**を書き、その後**坂田藤十郎**と**世話歌舞伎**を確立。

『曾根崎心中』で大好評を得て、浄瑠璃作家の地位を確立。

『曾根崎心中』…一七〇三年成立。竹本座で上演。作者の代表作品。醤油屋（平野屋）の手代徳兵衛と遊女お初が、大阪の曽根崎天神の森で心中する悲恋物語。

『国姓爺合戦』…**国姓爺**（日本と明の混血児）が、明朝を復興する話。

『冥途の飛脚』…飛脚問屋と遊女の悲恋物語。

鶴屋南北…**『東海道四谷怪談』**の作者。お岩が怨霊となり夫に復讐する話。歌舞伎のもと。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【随筆】

『花月草紙』…作者＝**松平定信**（寛政の改革の実行者）。

『玉勝間』…作者＝**本居宣長**。**国学者**。江戸時代の代表随筆作品。『徒然草』の兼好を批判。

『折たく柴の記』…作者＝**新井白石**。自らの一代記。

【国学】

契沖→荷田春満→賀茂真淵→本居宣長

『万葉代匠記』…作者＝**契沖**。

賀茂真淵…県居と号す。**荷田春満の弟子**。**本居宣長の師**。歌人としても有名。
『万葉考』、『歌意考』、『祝詞考』、『冠辞考』など。

『万葉考』…「**ますらをぶり**」提唱。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

本居宣長…鈴屋（すずのや）と号す。歌人でもある。国学・漢学・医学を学ぶ。**契沖に私淑。**
賀茂真淵の弟子。国学の第一人者。
『古事記伝』、『源氏物語玉の小櫛』、『玉勝間』（随筆）、『鈴屋集』（歌集）、など。
『古事記伝』…『古事記』の研究本。
『源氏物語玉の小櫛』…『源氏物語』の本質を「**もののあはれ**」と説く。

※その他の国学者＝**平田篤胤（ひらたあつたね）・村田春海（はるみ）**など。

〈演習問題❸〉

問１　江戸時代、『源氏物語』の「もののあはれ」を高く評価し、『源氏物語玉の小櫛』などの注釈書を著した古典学者を、次の中から選べ。

ア　本居宣長　　イ　上田秋成　　ウ　山東京伝　　エ　滝沢馬琴　　オ　藤原定家

問２　次の中から本居宣長の作品を一つ選べ。

ア　万葉代匠記　　イ　玉勝間　　ウ　折たく柴の記　　エ　花月草子　　オ　琴後集

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問３ 本居宣長の作品でないものを次の中から一つ選べ。

ア　古事記伝　　イ　雨月物語　　ウ　源氏物語玉の小櫛　　エ　うひ山ぶみ　　オ　玉勝間

問４ 曲亭馬琴と同時期の作者を次の中から選べ。

ア　近松門左衛門　　イ　十返舎一九　　ウ　井原西鶴　　エ　松尾芭蕉　　オ　鴨長明

問５『折たく柴の記』の作者を次の中から選べ。

ア　鴨長明　　イ　新井白石　　ウ　荻生徂徠　　エ　契沖

問６『春雨物語』の作者を次の中から選べ。

ア　井原西鶴　　イ　上田秋成　　ウ　山東京伝　　エ　柳亭種彦　　オ　曲亭馬琴

問７ 上田秋成とほぼ同時代の人物を次の中から一人選べ。

ア　紀貫之　　イ　兼好法師　　ウ　松尾芭蕉　　エ　紫式部　　オ　本居宣長

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問8　次のア～オのうち、与謝蕪村の発句ではないものを一つ選べ。

ア　愁ひつつ岡にのぼれば花いばら　　イ　五月雨や大河を前に家二軒
ウ　菜の花や月は東に日は西に　　エ　五月雨をあつめてはやし最上川
オ　春の海終日（ひねもす）のたりのたりかな

問9　次の中から江戸時代に成立した作品ではないものを一つ選べ。

ア　玉勝間　　イ　曾根崎心中　　ウ　世間胸算用　　エ　無名草子　　オ　野ざらし紀行

問10『おくのほそ道』と最も関係の深い俳人を、次の中から二人選べ。

ア　去来　　イ　其角　　ウ　芭蕉　　エ　宗因　　オ　曾良

問11『好色五人女』の作者と同時期に活躍した人物は誰か。最も適当なものを次の中から選べ。

ア　十返舎一九　　イ　与謝蕪村　　ウ　鶴屋南北　　エ　曲亭馬琴　　オ　近松門左衛門

問12『新花摘』の作者を選べ。

ア　西鶴　　イ　芭蕉　　ウ　去来　　エ　蕪村　　オ　一茶

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問13 松尾芭蕉の作品でないものを、左から一つ選べ。

ア　野ざらし紀行　イ　鹿島詣　ウ　笈の小文　エ　更科紀行　オ　東関紀行

問14 近松門左衛門の作品名を次の中から一つ選べ。

ア　好色一代男　イ　仮名手本忠臣蔵　ウ　曾根崎心中　エ　東海道中膝栗毛　オ　傾城禁短気

問15 只野真葛は、宝暦十三年（一七六三）に生まれ、文政八年（一八二五）に没した。次の文章は、この時代の文学作品について述べたものである。文中の空欄にあてはまるものを後の【語句】の中から選べ。

この時代の代表的な作品として、恋川春町の書いた『金々先生栄花夢』があり、それは（１）の祖とされる。ほぼ同時期に、上田秋成によって書かれた（２）は、中国小説に題材をとった怪談・奇談九編からなる作品で（３）と呼ばれるジャンルに分類される。また、（４）の著した『東海道中膝栗毛』は（５）に分類される。

【語句】
ア　花月草紙　イ　十返舎一九　ウ　仮名草子　エ　雨月物語　オ　式亭三馬
カ　読本　キ　椿説弓張月　ク　人情本　ケ　山東京伝　コ　黄表紙
サ　滑稽本　シ　為永春水

1＝　2＝　3＝　4＝　5＝

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈総合演習問題〉

問1　『源氏物語』と同じく作者が女性である作品を、次の中から二つ選べ。

ア　土佐日記　　イ　更級日記　　ウ　発心集　　エ　建礼門院右京大夫集　　オ　沙石集

問2　『枕草子』とは異なるジャンルの作品を次の中から一つ選べ。

ア　方丈記　　イ　花月草紙　　ウ　十訓抄　　エ　折たく柴の記　　オ　徒然草

問3　『堤中納言物語』と同じジャンルの作品を、次の中から選べ。

ア　大和物語　　イ　源氏物語　　ウ　栄花物語　　エ　宇治拾遺物語　　オ　平家物語

問4　冒頭が「今は昔」で始まる作品を、次の中から選べ。

ア　伊勢物語　　イ　大鏡　　ウ　更級日記　　エ　竹取物語　　オ　徒然草

問5　『堤中納言物語』は、平安時代後期から鎌倉時代初期ごろに成立したと考えられる短編物語集である。次のうち『堤中納言物語』よりも成立の遅れる作品を一つ選べ。

ア　伊勢物語　　イ　奥の細道　　ウ　源氏物語　　エ　古今和歌集

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問6　次の中から平安時代の作品でないものをすべて選べ。

ア　大和物語　　イ　石清水物語　　ウ　落窪物語　　エ　堤中納言物語　　オ　春雨物語

問7　『源氏物語』とほぼ同時代に成立した作品を次の中から一つ選べ。

ア　今昔物語集　　イ　新古今和歌集　　ウ　和漢朗詠集　　エ　古今著聞集　　オ　万葉集

問8　『うつほ物語』のことは、『枕草子』『源氏物語』などに言及がみられる。『うつほ物語』よりもあとに成立した作品を、次の中から選べ。

ア　大鏡　　イ　蜻蛉日記　　ウ　後撰和歌集　　エ　日本霊異記　　オ　平中物語

問9　『更級日記』以降に成立した作品を次の中から選べ。

ア　源氏物語　　イ　蜻蛉日記　　ウ　宇治拾遺物語　　エ　日本霊異記　　オ　古今和歌集

問10　『建礼門院右京大夫集』と成立の時代が近い作品を、次の中から二つ選べ。

ア　栄花物語　　イ　蜻蛉日記　　ウ　山家集　　エ　世間胸算用
オ　曽根崎心中　　カ　方丈記　　キ　大和物語

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問11 『発心集』と同じころに成立した文学作品として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　徒然草　イ　雨月物語　ウ　風姿花伝　エ　大鏡　オ　新古今和歌集

問12 『十訓抄』とほぼ同時期に成立した作品として最も適当なのを、次の中から選べ。

ア　今昔物語集　イ　折たく柴の記　ウ　古今著聞集
エ　竹取物語　オ　新古今和歌集

問13 南北朝時代以前に成立したとみられる作品を、次の中からすべて選べ。

ア　奥の細道　イ　大鏡　ウ　和漢朗詠集　エ　蜻蛉日記　オ　好色一代男
カ　雨月物語　キ　万葉集　ク　世間胸算用　ケ　源氏物語　コ　新古今和歌集

問14 『古本説話集』は、十二世紀頃の成立とされているが、同じ頃に成立した作品を次の中から選べ。

ア　千載和歌集　イ　徒然草　ウ　源氏物語　エ　十訓抄　オ　風姿花伝

問15 『鼠草紙絵巻』は十六世紀の作とされている。同世紀に成立した作品を次の中から一つ選べ。

ア　太平記　イ　徒然草　ウ　とはずがたり　エ　閑吟集　オ　十六夜日記

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問16　『太平記』は十四世紀に成立した軍記物語である。次の中から『太平記』と最も近い時期に成立したものを二つ選べ。

ア　今昔物語集　イ　奥の細道　ウ　枕草子　エ　徒然草
オ　菟玖波集　カ　日本霊異記　キ　雨月物語　ク　大鏡

問17　平安時代の終わり頃に書かれた『有明の別れ』の成立時期から最も離れた作品を、次の中から一つ選べ。

ア　古今和歌集　イ　新古今和歌集　ウ　源氏物語
エ　宇治拾遺物語　オ　方丈記　カ　徒然草

問18　『松浦宮物語』は藤原定家の作品と考えられている。次のＡ～Ｅの作品を年代の古い順に並べたものとして正しいものを、後の中から選べ。

Ａ　源氏物語　Ｂ　伊勢物語　Ｃ　松浦宮物語
Ｄ　狭衣物語　Ｅ　石清水物語

ア　Ｅ→Ｂ→Ａ→Ｃ→Ｄ
イ　Ｄ→Ｅ→Ｂ→Ａ→Ｃ
ウ　Ｂ→Ａ→Ｄ→Ｃ→Ｅ
エ　Ｂ→Ａ→Ｃ→Ｅ→Ｄ
オ　Ｅ→Ｄ→Ｂ→Ａ→Ｃ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第八講　復習問題

①『平治物語』と同じジャンル（部類）の作品を次の中から一つ選べ。

ア　とはずがたり　イ　無名草子　ウ　太平記　エ　堤中納言物語　オ　雨月物語

②『海道記』は貞応二年（一二二三）の成立と言われている。これと最も成立年代の近い作品を次の中から選べ。

ア　徒然草　イ　太平記　ウ　今昔物語集　エ　更級日記　オ　方丈記

③本居宣長の作品として正しいものを、次の中から選べ。

ア　世間胸算用　イ　源氏物語玉の小櫛　ウ　曽根崎心中　エ　雨月物語　オ　東海道中膝栗毛

④賀茂真淵は国学者である。次の中から国学者を一人選べ。

ア　本居宣長　イ　末広鉄腸　ウ　幸田露伴　エ　井原西鶴　オ　藤原定家

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤「芭蕉」の著作を次の中から一つ選べ。

ア　奥の細道　　イ　誹風柳多留　　ウ　東海道中膝栗毛　　エ　南総里見八犬伝　　オ　方丈記

⑥次の中から、本居宣長に深くかかわるものを二つ選べ。

ア『源氏物語玉の小櫛』　　イ『万葉代匠記』　　ウ『うひまなび』

エ「ますらをぶり」　　オ「もののあはれ」

⑦次の中から、国学者でないものを一人選べ。

ア　契沖　　イ　荷田春満　　ウ　賀茂真淵　　エ　鶴屋南北　　オ　平田篤胤

© RECRUIT

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

模範解答

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講　模範解答

1

問1　ウ
問2　イ
問3　イ
問4　歌枕
問5　連歌
問6　ア

2

問1　枕詞
問2　A
問3　x　エ　y　イ
問4　オ
問5　Ⅰ　c　Ⅱ　d　Ⅲ　b
問6　ウ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　模範解答

1

〈例題１〉「世に有」の「有」と、「有馬山」の「有」が掛けられている。
〈例題２〉「まつ」が、「松虫」の「松」と「待つ」。「さが」が、「嵯峨野」の「嵯峨」と「性」。
〈例題３〉「おく」に、「(露を) 置く」と「起くる」の「起く」が掛けられている。

問１　「鳴海の浦」の「鳴海」に、「いかになる身」の「なる身」が掛けられている。
問２　Ｂ
問３　「すむ」が、「住む」と「澄む」の掛詞。
問４　「うし」に、「憂し」と「牛」が掛けられている。
問５　「渚」と「無き」／「住み」と「住の江」／「待つ」と「松」(順不同)
問６　「紙」と「神」
問７　イ

2

問１　びね
問２　び散りき
問３　よねはなしぜにすこし(「米はなし　銭少し」)

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　模範解答

問1　オ

問2　エ

問3　ひさかたの

問4　エ

問5　エ

問6　いなば／まつ

問7　掛詞は（　**見むろ**　）で、（　**見む**　）と（　**三室**　）が掛けられている。（「見む」と「三室」は順不同）

問8　時雨ばかりが降り、古い家だから漏れて濡れたのだろう

問9　自身のつらさが、海の波が凪いで落ち着くように、心が和らぐ時は今宵だなあ

問10　ア　あをかりしより　　イ　襖

問11　i　物思いをしているのだろうか　　ii　六月（水無月）　　iii　鳴く　　iv　泣く

問12　「（夜が）明けて」と「（戸を）開けて」が掛けてある。

問13　「月夜」の「月」に「麦を舂く」の「舂く」を、「宇兵衛」の「宇」を「うさぎ」の「卯」と掛けている。

問14　「しもと」が、「霜（と）」と「笞」の掛詞。

問15　「はな」が、「花」と「鼻」の掛詞。

問16　「ふぢ」が、「藤」と「淵」の掛詞。

問17　入・射　（順不同）

問18　「暮るる」と「呉るる」の掛詞。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講　模範解答

1

問1　イ

問2　ウ

問3　序詞

2

問1　「ふる」と「なる」が「鈴」の縁語

〔例題1〕「むすび（結び）」「はる（張る）」「たつ（断つ）」「とく（解く）」が「袖」の縁語。

問2　ウ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講　模範解答

1

問1 「よ」「(うき) ふし」が、「(呉) 竹」の縁語。

問2 イ・エ

問3 「燃ゆる」と「ひ (火)」が「さしも草」の縁語。

問4 ｉ 底　ⅱ 泣かれ　ⅲ (涙) 川

2

問1 ア

問2 ②

問3 ④

問4 ②

3

問1 滝の音

問2 ⑤

問3 ③

問4 ③

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第六講　模範解答

〔演習問題❶〕

問1　ウ　問2　ウ　問3　ア　問4　ウ　問5　ア　日本書紀　イ　舎人親王

〔演習問題❷〕

問1　イ・オ　問2　ウ　問3　イ・ケ　問4　ウ

問5　ニ　問6　エ　問7　ウ　問8　イ・エ

〔演習問題❸〕

問1　オ　問2　オ　問3　ア　問4　カ　問5　ア

問6　ウ　問7　①ア　②ウ　③エ　④ア

〔演習問題❹〕

問1　エ　問2　エ　問3　オ　問4　ア　問5　ウ　問6　ア

問7　イ・キ　問8　オ　問9　オ　問10　Aウ　Bア

問11　ア　問12　ⓐエ　ⓑオ　問13　ウ　問14　イ

問15　８　問16　オ　問17　イ　問18　エ　問19　ウ　問20　ウ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第七講　模範解答

〔演習問題❶〕

問1 イ　**問2** 十六夜日記　**問3** エ　**問4** エ　**問5** イ　**問6** イ
問7 オ　**問8** ア　**問9** カ　**問10** 作者 藤原道綱母　夫 藤原兼家
問11 A 紀貫之　B 土佐日記　**問12** A エ　B ア　**問13** オ
問14 イ　**問15** エ　**問16** A イ　B イ　C ア　D ア　E イ

〔演習問題❷〕

問1 ウ　**問2** ウ　**問3** ア　**問4** イ　**問5** オ
問6 ア　**問7** エ　**問8** イ　**問9** イ　**問10** ウ
問11 1 オ　2 シ　3 イ　4 タ　5 エ　6 ソ　7 ト

〔演習問題❸〕

問1 ウ　**問2** エ　**問3** ウ　**問4** ウ　**問5** ウ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第八講　模範解答

〈演習問題❶〉

問1 エ　問2 オ　問3 ア　問4 ウ　問5 イ　問6 太平記

〈演習問題❷〉

問1 イ　問2 エ　問3 イ・オ　問4 イ・エ　問5 時代 オ　作品 エ

問6 ウ　問7 建礼門院　問8 A イ　B イ　問9 エ

〈演習問題❸〉

問1 ア　問2 イ　問3 イ　問4 イ　問5 イ　問6 イ

問7 オ　問8 エ　問9 エ　問10 ウ・オ　問11 オ　問12 エ

問13 オ　問14 ウ　問15 1 コ　2 エ　3 カ　4 イ　5 サ

〈総合演習問題〉

問1 イ・エ　問2 ウ　問3 イ　問4 エ　問5 イ

問6 イ・オ　問7 ウ　問8 ア　問9 ウ　問10 ウ・カ

問11 オ　問12 ウ　問13 イ・ウ・エ・キ・ケ・コ　問14 ア

問15 エ　問16 エ・オ　問17 ア　問18 ウ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答解説

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第一講　解答解説

〔解説〕

① 三句目「吹きとぢよ」の「とぢよ」が、ダ行上二段活用動詞「閉づ」の命令形。よって、正解はウ。

② 「今日ぞ問ふと**や**人は**知る**」の係助詞「や」と「知る（連体形）」で係り結びが成立しており、「知る」の部分がちょうど三句目の末となっている。よって、正解はウ。「今日**ぞ問ふ**」の部分も係り結びは成立しているが、「問ふ」の部分が句末ではないので、句切れにはならない。

③ 古歌に詠まれた景勝地のことを「歌枕」という。よって、正解はア。

④ 「もと」「ひき（引き）」を導く五音の「あつさ弓」は「枕詞」である。よって、正解はエ。

⑤ 1は、下が「年」なので「あらたまの」のエが正解、2は、下が「春日」なので「はるがすみ」のイが正解。

⑥ Aは、下が「大和」なので「敷島の」である。この時点でアが正解とわかる。ちなみに、Bの下は「奈良」なので「青丹よし」である。Aがわからなくても、Bで正解を導ける問題でもある。

⑦ 選択肢がすべて五音で枕詞とわかる。空欄の下が「光」なので「ひさかたの」のエが正解。

〔解答〕

①ウ　②ウ　③ア　④エ　⑤1エ　2イ　⑥ア　⑦エ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二講　解答解説

〔解説〕

①　一つの音に二つ以上の意味をもたせることを「掛詞」という。よって、正解はイ。

②　選択肢ア・イ・エが覚えておくべき「頻出例」の組合せで、ウも実際に掛詞になることがある組合せである。したがって、きちんと文脈判断をする必要がある。「一緒に眺めた人もいなくなり、私ももう通って住むことがない家に、今は澄んだ月が一人でその家に住んでいる（＝やどっている）のだろうか」という意味なので、「住む」と「澄む」のエが正解。「宿」・「月」に気づけたら、おそらくエだろうと予測もできたはず。

③　覚えておくべき「頻出例」の掛詞「かれ（「枯れ」と「離れ」）」がある。「しら菊」も「枯れ」、「人」も「離れ」でおかしくないので、アが正解。

〔解答〕

①　イ　　②　エ　　③　ア

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第三講　解答解説

〈解説〉

① 「駿（する）」が「駿河」と「（恋を）する」の掛詞（懸詞）である。よって、正解はイ。

② 空欄の直後が「大和」。「大和」の枕詞は「しきしまの」である。よって、正解はイ。ちなみに、ア「あをによし」は「奈良」の、ウ「とぶとりの」は「あすか」の、エ「やくもたつ」は「出雲」の枕詞である。

③ 「白雪が降る」と「世に経る」である。よって、正解はエ。

④ 覚えておくべき「頻出例」の掛詞「ながめ」がある。雨が降っているとあり、「川の深さがまさる」ことから「長雨」と、「涙」から「物思いにふける」の「眺め」でおかしくないので、エが正解。

〈解答〉

①　イ　②　イ　③　エ　④　エ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第四講　解答解説

〈解説〉

① 三句目の末の「の」が「〜のように」と訳せるので、序詞である。よって、正解はエ。

② 設問中の和歌の技法は「序詞（風吹けば沖つ白浪）」か「掛詞（「たつ（竜（田山）・（浪が）立つ）」）。アは比喩、イとエは「の」型で判断できる序詞がある。ウは上の句が心情であることからも、序詞ではないことがわかる。よって、正解はウ。

③「細河」（＝体言）に関連する語➡「縁語」とわかる。よって、正解はウ。

④ 第二講で学習した「頻出例」の掛詞「ひ（（思）ひ・火）」があり、「消つ」「消ゆる」が「火」の縁語。よって、正解はウとキ。

〈解答〉

① エ　② ウ　③ ウ　④ ウ・キ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第五講　解答解説

〔解説〕

① ａは、一つの音「そめ」に二つの意味をもたせていることから「掛詞」とわかる。ｂは、「折り」「染め」が「もみぢ」（＝体言）に関連する語と考えられるため「縁語」とわかる。よって、正解はア。

② 第二講で学習した「頻出例」の掛詞「（おも）ひ〔（思）ひ・火〕」があり、「煙」が「火」の縁語。よって、正解はイとエ。

〔解答〕

① ア　② イ・エ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第六講　解答解説

〔解説〕

① ア『伊勢物語』とオ『大和物語』は「歌物語」、イ『うつほ物語』とエ『落窪物語』は「伝奇（つくり）物語」で、ともに『源氏物語』よりも前の作品。よって、正解はウ。

② 一条天皇の中宮には、定子と彰子がおり、定子に仕えていたのが清少納言、彰子に仕えていたのが紫式部である。選択肢の中から考えるのであれば、紫式部が書いた作品ウ『源氏物語』が正解。

③ 今回は学習した知識を使って、消去法で考える。イ『うつほ物語』は平安中期で『源氏物語』よりも前の作品。ア『浜松中納言物語』とオ『夜の寝覚』は『源氏物語』の影響を強く受けており、菅原孝標女が作者かと考えられている平安時代の作品。エ『狭衣物語』も同じく『源氏物語』の「宇治十帖」の影響を強く受けた平安時代の作品。よって、ウ『正徹物語』（室町時代の歌論書）が正解。

④ 「業平」とは「在原業平」のこと。在原業平は六歌仙の一人。同じく「六歌仙」の一人である、オ「小野小町」が正解。

〔解答〕

① ウ　② ウ　③ ウ　④ オ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第七講　解答解説

〈解説〉

①　「和泉式部・紫式部・清少納言・赤染衛門」は同時代の女房ということを覚えていると、『和泉式部日記』と同じ頃の作品は、イ『紫式部日記』だとわかる。よって、正解はイ。

②　『蜻蛉日記』の筆者は「藤原道綱母」。よって、正解はオ。

③　選択肢ウで『紫式部日記』『十六夜日記』『和泉式部日記』とほぼ同時代となっているが、『十六夜日記』は鎌倉時代の作品で、平安時代である他の作品とは異なっている。よって、正解はウ。

④　『源氏物語』の作者は「紫式部」。消去法で考えるとよい。①で触れたように、「和泉式部・紫式部・清少納言・赤染衛門」は同時代の女房なので、ア・ウは削る。「紫式部」は、一条天皇の中宮彰子に仕えていた女房であることからエも削る。中宮彰子の父はオ「藤原道長」。よって、イ「式子内親王」が正解。

⑤　『土佐日記』で「帰らぬ人」といえば、土佐で亡くなった自分の娘（女児）のこと。よって、正解はエ。

⑥　和泉式部は、平安中期の女流文学者である。よって、１の正解はイ。同時代に「紫式部」などがいたことは①・④でも触れたが、紫式部が書いた『源氏物語』が平安中期の作品であることからもわかる。２はそのまま『和泉式部日記』なので、正解はス。道長の娘である中宮は「彰子」なので、３の正解はト。道長の妻倫子に仕えた女房がわからなくても、道長の繁栄を描いた作者（編者）ということから『栄花物語』を描いた＝赤染衛門とわかる。よって、４の正解はシ、５の正解はケである。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑦　選択肢の中で「説話」は、ア『宇治拾遺物語』である。よって、正解はア。イ『落窪物語』とウ『竹取物語』は「伝奇（つくり）物語」。エ『保元物語』は次回第八講で学習する「軍記物語」。オ『栄華物語』は「歴史物語」。

⑧　『宇治拾遺物語』のジャンルは⑦で触れたように「説話」。エ『今昔物語集』が正解。ア『平家物語』は次回第八講で学習する「軍記物語」。イ『源氏物語』は「物語」。ウ『雨月物語』も第八講で学習する「読本（よみほん）」。オ『竹取物語』は⑦で触れたように「伝奇（つくり）物語」。

⑨　『十訓抄』は鎌倉時代に成立した説話。よって、正解はウ。

⑩　選択肢の中で「仏教説話集」は、イ『発心集』である。よって、正解はイ。

⑪　「家の集」とは「私家集」のこと。選択肢の中で「私家集」は、源実朝のア『金槐和歌集』である。よって、正解はア。

〔解答〕

①　イ　②　オ　③　ウ　④　イ　⑤　エ

⑥　１　イ　２　ス　３　ト　４　シ　５　ケ

⑦　ア　⑧　エ　⑨　ウ　⑩　イ　⑪　ア

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第八講　解答解説

〔解説〕

① 『平治物語』は「軍記物語」。選択肢の中で「軍記物語」はウ『太平記』。よって、正解はウ。

② 一二一三年に近い作品は、「一二一二年」のオ『方丈記』である。よって、正解はオ。

③ 本居宣長の作品は、イ『源氏物語玉の小櫛』が正解。ア『世間胸算用』は井原西鶴、ウ『曽根崎心中』は近松門左衛門、エ『雨月物語』は上田秋成、オ『東海道中膝栗毛』は十返舎一九。

④ 本居宣長は国学の第一人者である。よって、正解はア。

⑤ 「芭蕉」とは「松尾芭蕉」のこと。ア『奥の細道』が正解。ウ『東海道中膝栗毛』は③で触れたように十返舎一九、エ『南総里見八犬伝』は滝沢馬琴、オ『方丈記』は鴨長明。

⑥ ③で見たように、本居宣長は『源氏物語玉の小櫛』の作者で、『源氏物語』の本質を「もののあはれ」と説いた。よって、正解はアとオ。

⑦ エ「鶴屋南北」は『東海道四谷怪談』の作者で国学者ではない。よって、正解はエ。

〔解答〕

① ウ　② オ　③ イ　④ ア　⑤ ア　⑥ ア・オ　⑦ エ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。